

一 前條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項

二 荷送人ノ氏名又ハ商號

三 運送貨

四 此他運送契約ノ要領

五 貨物引換證ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第三百十八條 貨物引換證ヲ作リタルトキハ運送人ト所持人トノ間ニ於テハ運送ニ關スル事項ハ貨物引換證ノ定ムル所ニ依ル

第三百十九條 裏書ニ依リテ貨物引換證ヲ讓渡シタルトキハ運送品ノ讓渡ト同一ノ效力ヲ有ス

第三百二十條 運送品ノ全部又ハ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ其運送貨ヲ請求スルコトヲ得ス

運送品ノ全部又ハ一部カ其性質若クハ瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第三百二十一條 運送人ハ自己又ハ運送取扱人、使用人其他運送ノ爲メ使用シタル者カ運送品ノ授受、保管及ヒ運送ニ關シ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非サレハ運送品ノ滅失、

毀損、延著其他ノ損害ニ付キ賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百二十二條 貨幣、有價證券其他ノ高價品ニ付テハ荷送人カ運送ヲ委託スルニ當テリ其種類及ヒ價額ヲ明告シタルニ非サレハ運送人ハ其滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任セズ

第三百二十三條 數人相次テ運送ヲ爲ス場合ニ於テハ各運送人ハ運送品ノ滅失、毀損、延著其他ノ損害ニ付キ連帶シテ賠償ノ責ニ任ズ

第三百二十四條 運送品ノ全部滅失ノ場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其引渡アルヘカリシ日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム

運送品ノ一部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其引渡アリタル日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム但延著ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス

運送品ノ滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セサル運送貨其他ノ費用ハ前二項ノ賠償額ヨリ之ヲ控除ス

第三百二十五條 運送品カ運送人ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ滅失又ハ毀損シタル場合ニ於テ損害カ前條ニ定メタル賠償額ニ超ユルトキハ運送人ハ一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ズ

第三百二十六條 荷送人又ハ貨物引換證ノ所持人ハ運送人ニ對シ運送ノ中止、運送品ノ返還
其他ノ處分ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ運送人ハ既ニ爲シタル運送ノ割合ニ應スル
運送賃、立替金及ヒ其處分ニ因リテ生シタル費用ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得

前項ニ定メタル荷送人ノ權利ハ運送品カ到達地ニ達シタル後荷受人カ其引渡ヲ請求シタル
トキハ消滅ス

第三百二十七條 運送品カ到達地ニ達シタル後ハ荷受人ハ運送契約ニ因リテ生シタル荷送人
ノ權利ヲ取得ス

荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ運送人ニ對シ運送賃其他ノ費用ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第三百二十八條 貨物引換證ヲ作リタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ運送品ノ引渡ヲ請
求スルコトヲ得ス

第三百二十九條 荷受人ヲ確知スルコト能ハサルトキハ運送人ハ運送品ヲ供託シ又ハ之ヲ競
賣スルコトヲ得此場合ニ於テハ遲滞ナク荷送人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

運送人ハ荷送人ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ運送品ノ處分ニ付キ指圖ヲ爲スヘキ旨ヲ催告シタ
ル後ニ非サレハ前項ノ規定ニ從ヒテ競賣ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十條 前條ノ規定ハ運送品ノ引渡ニ關シテ爭アル場合ニ之ヲ準用ス但運送人ハ遲滞

ナク荷受人ニ對シテモ運送品ノ供託又ハ競賣ヲ爲シタルコトノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

運送人カ競賣ヲ爲スニハ豫メ荷受人ニ對シ相當ノ期間ヲ定メテ運送品ノ受取ヲ催告シ其期
間經過ノ後更ニ荷送人ニ對スル催告ヲ爲スコトヲ要ス

第三百三十一條 第二百七十條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十二條 運送人ノ責任ハ荷受人カ留保ヲ爲サシテ運送品ヲ受取リ且運送賃其他ノ
費用ヲ支拂ヒタルトキハ消滅ス但運送品ニ直ニ發見スルコト能ハサル毀損又ハ一部滅失
アリタル場合ニ於テ荷受人カ引渡ノ日ヨリ二週間内ニ運送人ニ對シテ其通知ヲ發シタルト
キハ此限ニ在テス

前項ノ規定ハ運送人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第三百三十三條 第三百八條、第三百九條、第三百十二條及ヒ第三百十三條ノ規定ハ運送人ニ
之ヲ準用ス

第二節 旅客運送

第三百三十四條 旅客ノ運送人ハ自己又ハ其使用人カ運送ニ關シ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證
明スルニ非サレハ旅客カ運送ノ爲メニ受ケタル損害ヲ賠償スル責ヲ免ルルコトヲ得ス
損害賠償ノ額ヲ定ムルコト付テハ裁判所ハ被害者及ヒ其家族ノ情況ヲ斟酌スルコトヲ要ス

第三百三十五條 旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケタル手荷物ニ付テハ特ニ運送貨ヲ請求セサルトキト雖モ物品ノ運送人ト同一ノ責任ヲ負フ

手荷物カ到達地ニ達シタル日ヨリ一週間内ニ旅客カ其引渡ヲ請求セサル場合ニ於テハ第二百七十條ノ規定ヲ準用ス但住所又ハ居所ノ知レサル旅客ニハ催告及ヒ通知ヲ爲スコトヲ要セス

第三百三十六條 旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケサル手荷物ノ滅失又ハ毀損ニ付テハ自己又ハ其使用人ニ過失アル場合ヲ除ク外損害賠償ノ責ニ任セス

第九章 寄託

第一節 總則

第三百三十七條 商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ寄託ヲ受ケタルトキハ報酬ヲ受ケサルトキト雖モ善良ナル管理者ノ注意ヲ爲スコトヲ要ス

第三百三十八條 旅店、飲食店、浴場其他客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ主人ハ客ヨリ寄託ヲ受ケタル物ノ滅失又ハ毀損ニ付キ其不可抗力ニ因リタルコトヲ證明スルニ非サレハ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

客カ特ニ寄託セサル物ト雖モ場屋中ニ携帶シタル物カ場屋ノ主人又ハ其使用人ノ不注意ニ

因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ場屋ノ主人ハ損害賠償ノ責ニ任ス

客ノ携帶品ニ付キ責任ヲ負ハサル旨ヲ告示シタルトキト雖モ場屋ノ主人ハ前二項ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百三十九條 貨幣、有價證券其他ノ高價品ニ付テハ客カ其種類及ヒ價格ヲ明告シテ之ヲ前條ノ場屋ノ主人ニ寄託シタルニ非サレハ其場屋ノ主人ハ其物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百四十條 前二條ニ定メタル責任ハ場屋ノ主人カ寄託物ヲ返還シ又ハ客カ携帶品ヲ持去リタル後一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ物ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ客カ場屋ヲ去リタル時ヨリ之ヲ起算ス
前二項ノ規定ハ場屋ノ主人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第二節 倉庫營業

第三百四十一條 倉庫營業者トハ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百四十二條 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ預證券及ヒ質入證券ヲ交付スルコトヲ要ス

第三百四十三條 預證券及ヒ質入證券ニハ左ノ事項及ヒ番號ヲ記載シ倉庫營業者之ニ署名ス

ルコトヲ要ス

- 一 受寄物ノ種類、品質、數量、荷造ノ種類、個數及ヒ記號
- 二 寄託者ノ氏名又ハ商號
- 三 保管ノ場所
- 四 保管料
- 五 保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間
- 六 受寄物ヲ保險コ付シタルトキハ保險金額、保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號
- 七 此他寄託契約ノ要領
- 八 預證券及ヒ質入證券ノ作成地並ニ其作成ノ年月日
- 九 倉庫營業者ノ營業所

第三百四十四條 預證券及ヒ質入證券ヲ寄託者ニ交付シタルトキハ倉庫營業者ハ其帳簿ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 前條第一號、第二號及ヒ第四號乃至第七號ニ掲ケタル事項
 - 二 預證券及ヒ質入證券ノ番號及ヒ其作成ノ年月日
- 第三百四十五條 預證券及ヒ質入證券ヲ作リタルトキハ倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ

寄託ニ關スル事項ハ其證券ノ定ムル所ニ依ル

第三百四十六條 預證券及ヒ質入證券ノ所持人ハ倉庫營業者ニ對シ寄託物ヲ分割シ且其各部
分ニ對スル預證券及ヒ質入證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ所持人ハ前ノ預
證券及ヒ質入證券ヲ倉庫營業者ニ返還スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル寄託物ノ分割及ヒ證券ノ交付ニ關スル費用ハ所持人之ヲ負擔ス

第三百四十七條 預證券及ヒ質入證券ヲ作リタルトキハ寄託物ニ關スル處分ハ其證券ヲ以テ
スルコト非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十八條 預證券及ヒ質入證券ハ其ノ記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡シ
又ハ之ヲ質入スルコトヲ得但證券ニ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス
預證券ノ所持人カ未ダ質入ヲ爲ササル間ハ預證券及ヒ質入證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スコトヲ
得ス

第三百四十九條 第三百十九條ノ規定ハ預證券ニ之ヲ準用ス

第三百五十條 預證券又ハ質入證券カ滅失シタルトキハ其所持人ハ相當ノ擔保ヲ供シテ更ニ
其證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ倉庫營業者ハ其旨ヲ帳簿ニ記載スルコト
ヲ要ス

第三百五十一條 質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニハ債權額、其利息及ヒ辨濟期ヲ記載スルコトヲ要ス

第一ノ質權者カ前項ニ掲ケタル事項ヲ預證券ニ記載シテ之ニ署名スルニ非サレハ質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百五十二條 預證券ノ所持人ハ質入證券ニ記載シタル債權ノ辨濟期前ト雖モ其債權ノ全額及ヒ辨濟期マテノ利息ヲ倉庫營業者ニ供託シテ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ規定ニ從ヒテ供託シタル金額ハ質入證券ト引換ニ之ヲ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百五十三條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ爲替手形ニ關スル規定ニ從ヒテ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百五十四條 倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ競賣ニ關スル費用、受寄物ニ課スヘキ租税、保管料其他保管ニ關スル費用及ヒ立替金ヲ控除シタル後其殘額ヲ質入證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

競賣代金ノ中ヨリ前項ニ掲ケタル費用、租税、保管料、立替金及ヒ質入證券所持人ノ債權額、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シタル後餘剩アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百五十五條 競賣代金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ全部ヲ辨濟スルコト能ハザリシトキハ倉庫營業者ハ其支拂ヒタル金額ヲ質入證券ニ記載シテ其證券ヲ返還シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百五十六條 質入證券ノ所持人ハ先ツ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受テ尙ホ不足アルニ非サレハ債務者其他ノ裏書人ニ對シテ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十七條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケザリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セザリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

第三百五十八條 債務者其他ノ裏書人ニ對スル質入證券所持人ノ請求權ハ辨濟期ヨリ一年間之ヲ行ハサルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第三百五十九條 寄託者又ハ預證券ノ所持人ハ營業時間内ニ限り何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢若シハ其見本ノ抽出ヲ求メ又ハ其保存ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

質入證券ノ所持人ハ營業時間内ニ限り何時コテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢ヲ求ムルコトヲ得

第三百六十條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲサリシコトヲ證明スルニ非サレハ其滅失又ハ毀損ノ損害ニ付キ賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百六十一條 倉庫營業者ハ受寄物出庫ノ時ニ非サレハ報酬及ヒ立替金其他受寄物ニ關スル費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス但受寄物ノ一部ノ出庫ノ場合ニ於テハ割合ニ應シテ其支拂ヲ請求スルコトヲ得

第三百六十二條 當事者カ寄託物返還ノ時期ヲ定メサリシトキハ倉庫營業者ハ受寄物入庫ノ日ヨリ六個月ヲ經過シタル後ニ非サレハ其返還ヲ爲スコトヲ得ス但已ムコトヲ得サル事由アルトキハ此限ニ在ラズ

第三百六十三條 預證券及ヒ質入證券ヲ作りタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百六十四條 第二百七十條ノ規定ハ寄託者又ハ預證券ノ所持人カ寄託物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十五條 第三百三十二條ノ規定ハ倉庫營業者ニ之ヲ準用ス

第三百六十六條 寄託物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル倉庫營業者ノ責任ハ其出庫ノ日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ寄託物ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ倉庫營業者カ預證券ノ所持人、若シ其所持人カ知レサルトキハ寄託者ニ對シテ其滅失ノ通知ヲ發シタル日ヨリ之ヲ起算ス

前二項ノ規定ハ倉庫營業者ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十章 保險

第一節 損害保險

第一款 總則

第三百六十七條 損害保險契約ハ當事者ノ一方カ偶然ナル一定ノ事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スルコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第三百六十八條 保險契約ハ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ニ限り之ヲ以テ其目的ト爲スコトヲ得

第三百六十九條 保險金額カ保險契約ノ目的ノ價額ニ超過シタルトキハ其超過シタル部分ニ付テハ保險契約ハ無効トス

第三百七十條 同一ノ目的ニ付キ同時ニ數個ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其保險金額カ保險價額ニ超過シタルトキハ各保險者ノ負擔額ハ其各自ノ保額金額ノ割合ニ依リテ之ヲ定メ

數個ノ保險契約ノ日附カ同一ナルトキハ其契約ハ同時ニ爲シタルモノト推定ス

第三百七十一條 相次テ數個ノ保險契約ヲ爲シタルトキハ前ノ保險者先ツ損害ヲ負擔シ若シ其負擔額カ損害ノ全部ヲ填補スルニ足ラサルトキハ後ノ保險者之ヲ負擔ス

第三百七十二條 保險價額ノ全部ヲ保險ニ付シタル後ト雖モ左ノ場合ニ限り更ニ保險契約ヲ爲スコトヲ得

- 一 前ノ保險者ニ對スル權利ヲ後ノ保險者ニ讓渡スコトヲ約シタルトキ
- 二 前ノ保險者ニ對スル權利ノ全部又ハ一部ヲ拋棄スヘキコトヲ後ノ保險者ニ約シタルトキ
- 三 前ノ保險者カ損害ノ填補ヲ爲ササルコトヲ條件トシタルトキ

第三百七十三條 同時ニ又ハ相次テ數個ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險者ノ一人ニ對スル權利ノ拋棄ハ他ノ保險者ノ權利義務ニ影響ヲ及ホサス

第三百七十四條 保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ

保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第三百七十五條 保險價額カ保險期間中著シク減少シタルトキハ保險契約者ハ保險者ニ對シテ保險金額及ヒ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得但保險料ノ減額ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス

第三百七十六條 保險者カ填補スヘキ損害ノ額ハ其損害カ生シタル地ニ於ケル其時ノ價額ニ依リテ之ヲ定ム

前項ノ損害額ヲ計算スルニ必要ナル費用ハ保險者之ヲ負擔ス

第三百七十七條 前條第一項ノ規定ニ拘ハラズ當事者カ保險價額ヲ定メタルトキハ保險者ハ其價額ノ著シク過當ナルコトヲ證明スルニ非サレハ其填補額ノ減少ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十八條 戰爭其他ノ變亂ニ因リテ生シタル損害ハ特約アルニ非サレハ保險者之ヲ填補スル責ニ任セス

第三百七十九條 保險ノ目的ノ性質若シハ瑕疵、其自然ノ消耗又ハ保險契約者、被保險者若シハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ惡意若シハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害ハ保險者之ヲ填補スル責ニ任セス

第三百八十條 保險契約ノ當時當事者ノ一方又ハ被保險者カ事故ノ生セサルコト又ハ既ニ生シタルコトヲ知レルトキハ其契約ハ無効トス

第三百八十一條 保險契約者カ保險契約ヲ爲スニ當テリ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ其契約ハ無効トス但保險者カ其事實ヲ知り又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ此限ニ在ラス

第三百八十二條 保險契約ノ全部又ハ一部カ無効ナル場合ニ於テ保險契約者及ヒ被保險者カ善意ニシテ且重大ナル過失ナキトキハ保險者ニ對シテ保險料ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十三條 保險契約ノ當事者カ特別ノ危險ヲ斟酌シテ保險料ノ額ヲ定メタル場合ニ於テ保險期間中其危險カ消滅シタルトキハ保險契約者ハ將來ニ向テ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十四條 保險契約ハ他人ノ爲メモ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ保險契約者ハ保險者ニ對シ保險料ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第三百八十五條 保險契約者カ委任ヲ受ケスシテ他人ノ爲メニ契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其旨ヲ保險者ニ告ケサルトキハ其契約ハ無効トス若シ之ヲ告ケタルトキハ被保險者ハ當然其

契約ノ利益ヲ享受ス

第三百八十六條 保險者ハ保險契約者ノ請求ニ因リ保險證券ヲ交付スルコトヲ要ス

保險證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ保險者之ニ署名スルコトヲ要ス

- 一 保險ノ目的
- 二 保險者ノ負擔シタル危險
- 三 保險價額ヲ定メタルトキハ其價額
- 四 保險金額
- 五 保險料及ヒ其支拂ノ方法
- 六 保險期間ヲ定メタルトキハ其始期及ヒ終期
- 七 保險契約者ノ氏名又ハ商號
- 八 保險契約ノ年月日
- 九 此他保險契約ノ要領
- 十 保險證券作成ノ年月日

第三百八十七條 被保險者カ保險ノ目的ヲ讓渡シタルトキハ同時ニ保險契約ニ因リテ生シタル權利ヲ讓渡シタルモノト推定ス

商法 兩行爲 保險 損害保險

前項ノ場合ニ於テ保險ノ目的ノ讓渡カ著シク危險ヲ變更又ハ増加シタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フ

第三百八十八條 保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險契約者ハ相當ノ擔保ヲ供セシメ又ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス但保險契約者カ既ニ保險料ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ此限ニ在ラス

第三百八十九條 他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險者ハ被保險者ニ對シテ保險料ヲ請求スルコトヲ得但被保險者カ其權利ヲ拋棄シタルトキハ此限ニ在ラス

第三百九十條 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テハ保險契約者ハ契約ノ全部又ハ一部ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第三百九十一條 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ保險契約者又ハ被保險者ノ行爲ニ因ラヌシテ保險ノ目的ノ全部又ハ一部ニ付キ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ危險カ生セサルニ至リタルトキハ保險者ハ保險料ノ全部又ハ一部ヲ返還スルコトヲ要ス

第三百九十二條 前二條ノ場合ニ於テハ保險者ハ其返還スヘキ保險料ノ半額ニ相當スル金額

ヲ請求スルコトヲ得

第三百九十三條 保險期間中危險カ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但其解除ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス

第三百九十四條 保險契約者又ハ被保險者カ危險ノ著シク變更又ハ増加シタルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナシ之ヲ保險者ニ通知スルコトヲ要ス若シ其通知ヲ怠リタルトキハ保險者ハ危險ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其效力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得但保險者カ既ニ危險ノ變更又ハ増加ヲ知レルトキハ此限ニ在ラス

保險者カ前項ノ通知ヲ受ケタル後遲滞ナク契約ノ解除ヲ爲ササルトキハ其契約ヲ承認シタルモノト看做ス

第三百九十五條 保險者ノ負擔シタル危險ノ發生ニ因リテ損害カ生シタル場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ其損害ノ生シタルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三百九十六條 保險ノ目的ニ付キ保險者ノ負擔スヘキ損害カ生シタルトキハ其後ニ至リ其目的カ保險者ノ負擔セサル危險ノ發生ニ因リテ滅失シタルトキト雖モ保險者ハ其損害ヲ填補スル責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百九十七條 被保險者ハ損害ノ防止ヲ力ムルコトヲ要ス但之カ爲メニ必要又ハ有益ナリ
シ費用及ヒ填補額カ保險金額ニ超過スルトキト雖モ保險者之ヲ負擔ス

第三百七十四條ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十八條 保險ノ目的ノ全部カ滅失シタル場合ニ於テ保險者カ保險金額ノ全部ヲ支拂
ヒタルトキハ被保險者カ其目的ニ付キ有セル權利ヲ取得ス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付
タル場合ニ於テハ保險者ノ權利ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第三百九十九條 損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險者カ被保險者ニ對シ
其負擔額ヲ支拂ヒタルトキハ其支拂ヒタル金額ノ限度ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ第
三者ニ對シテ有スル權利ヲ取得ス

保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ノ一部ヲ支拂ヒタルトキハ保險契約者又ハ被保險者ノ權
利ヲ害セサル範圍内ニ於テノミ前項ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得

第四百條 保險金額支拂ノ義務ハ二年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス保險料支拂ノ
義務ニ付キ一年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第四百一條 本節ノ規定ハ相互保險ニ之ヲ準用ス但其性質カ之ヲ許ササルトキハ此限ニ在ラ
ズ

第二款 火災保險

第四百二條 火災ニ因リテ生シタル損害ハ其火災ノ原因如何ヲ問ハズ保險者之ヲ填補スル責
ニ任ス但第三百七十八條及ヒ第三百七十九條ノ場合ハ此限ニ在ラス

第四百三條 消防又ハ避難ニ必要ナル處分ニ因リ保險ノ目的ニ付キ生シタル損害ハ保險者之
ヲ填補スルコトヲ要ス

第四百四條 賃借人其他他人ノ物ヲ保管スル者カ其支拂フコトアルヘキ損害賠償ノ爲メ其物
ヲ火災保險ニ付シタルトキハ所有者ハ保險者ニ對シテ直接ニ其損害ノ填補ヲ請求スルコト
ヲ得

第四百五條 火災保險證券ニハ第三百八十六條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載ス
ルコトヲ要ス

- 一 保險ニ付シタル建物所在ノ場所、構造及ヒ用方
- 二 動産ヲ保險ニ付シタルトキハ之ヲ貯藏セル建物所在ノ場所構造及ヒ用方

第三款 運送保險

第四百六條 保險者ハ特約ナキトキハ運送人カ運送品ヲ受取リタル時ヨリ之ヲ荷受人ニ引渡
ス時マテニ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スル責ニ任ス

第四百七條 運送品ノ保險ニ付テハ發送ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ到達地マテノ運送費
其他ノ費用ヲ以テ保險價額トス

運送品ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益ハ特約アルトキニ限り之ヲ保險價額中ニ算入ス

第四百八條 運送保險證券ニハ第三百八十六條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載ス
ルコトヲ要ス

- 一 運送ノ道筋及ヒ方法
- 二 運送人ノ氏名又ハ商號
- 三 運送人カ運送品ノ授受ヲ爲ス場所
- 四 運送期間ノ定アルトキハ其期間
- 五 航行中寄港スヘキトキハ其場所

第四百九條 保險契約ハ特約アルニ非サレハ運送上ノ必要ニ因リ一時運送ヲ中止シ又ハ運送
ノ道筋若クハ方法ヲ變更セシトキト雖モ其效力ヲ失ハス

第二節 生命保險

第四百十條 生命保險契約ハ當事者ノ一方カ相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シ一定ノ金額ヲ支
拂フヘキコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第四百十一條 保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者、其相續人又ハ親族ナルコトヲ要ス

保險契約ニ因リテ生シタル權利ハ被保險者ノ親族ニ限り之ヲ讓受スルコトヲ得

保險金額ヲ受取ルヘキ者カ死亡シタルトキ又ハ被保險者ト保險金額ヲ受取ルヘキ者トノ親
族關係カ止ミタルトキハ保險契約者ハ更ニ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メ又ハ被保險者ノ
爲メニ積立テタル金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第四百十二條 生命保險證券ニハ第三百八十六條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載

スルコトヲ要ス

- 一 保險契約ノ種類
- 二 被保險者ノ氏名
- 三 保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メタルトキハ其者ノ氏名及ヒ其者ト被保險者ノ親族關

係

第四百十三條 左ノ場合ニ於テハ保險者ハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス

- 一 被保險者カ自殺、決闘其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ
- 二 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ但其者カ保險金額
ノ一部ヲ受取ルヘキ場合ニ於テハ保險者ハ其殘額ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス

商法 隨行爲 保險 生命保險

前項第一號ノ場合ニ於テハ保險者ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻スコトヲ要ス

第四百十四條 第三百七十八條、第三百八十條乃至第三百八十四條、第三百八十六條第一項、第三百八十八條乃至第三百九十條、第三百九十三條、第三百九十四條及ヒ第三百九十九條乃至第四百一條ノ規定ハ生命保險ニ之ヲ準用ス
第三百七十八條、第三百八十八條、第三百九十條、第三百九十三條及ヒ第三百九十四條ノ場合ニ於テ保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セザルトキハ保險者ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻スコトヲ要ス

第四編 手形

第一章 爲替手形

第一節 總則

第四百十五條 爲替手形ニ署名シタル者ハ其爲替手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四百十六條 代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ記載セスシテ爲替手形ニ署名シタルトキハ本人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

第四百十七條 偽造又ハ變造シタル爲替手形ニ署名シタル者ハ其偽造又ハ變造シタル爲替手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

署名者ハ變造前ニ署名シタルモノト推定ス

偽造者又ハ變造者及ヒ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ偽造又ハ變造シタル爲替手形ヲ取得シタル者ハ手形上ノ權利ヲ有セス

第四百十八條 無能力者カ爲替手形ヨリ生シタル債務ヲ取消シタルトキト雖モ他ノ手形上ノ權利義務ニ影響ヲ及ボサス

第四百十九條 本章ニ規定ナキ事項ハ之ヲ爲替手形ニ記載スルモ手形上ノ效力ヲ生セス

第四百二十條 爲替手形ノ債務者ハ本章ニ規定ナキ事由ヲ以テ手形上ノ請求ヲ爲ス者ニ對抗

商法 手形 爲替手形 總則

スルコトヲ得ス但直接ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由ハ此限ニ在ラス

第四百二十一條 何人ト雖モ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ爲替手形ヲ取得シタル者ニ對シ其爲替手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第四百二十二條 爲替手形ノ引受又ハ支拂ヲ求ムル爲メニ呈示、拒絕證書ノ作成其他手形上ノ權利ノ行使及ヒ保全ニ付キ利害關係人ニ對シテ爲スヘキ行爲ハ其營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所又ハ居所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス但其者ノ承諾アルトキハ他ノ場所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ妨ケス

利害關係人ノ營業所、住所又ハ居所カ知レサルトキハ拒絕證書ヲ作ルヘキ公證人又ハ執達吏ハ其地ノ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲スコトヲ要ス若シ問合ヲ爲スモ營業所、住所又ハ居所カ知レサルトキハ其地場ニ於テ拒絕證書ヲ作ルコトヲ得

第四百二十三條 爲替手形ノ引受人ニ對スル債權ハ滿期日ヨリ三年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

所持人ノ振出人其他ノ前者ニ對スル債權還請求權ハ支拂拒絕證書作成ノ日ヨリ六個月ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス裏書人ノ振出人其他ノ前者ニ對スル債權還請求權ハ債還ヲ爲シタル日ヨリ六個月ヲ經過シタルトキ亦同シ

第四百二十四條 爲替手形ヨリ生シタル債權カ時效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ振出人又ハ引受人ニ對シ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ債還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二節 振出

第四百二十五條 爲替手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人之ニ署名スルコトヲ要ス

- 一 其爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字
- 二 一定ノ金額
- 三 支拂人ノ氏名又ハ商號
- 四 受取人ノ氏名又ハ商號
- 五 單純ナル支拂ノ委託
- 六 振出ノ年月日
- 七 一定ノ滿期日
- 八 支拂地

第四百二十六條 爲替手形ノ主ナル部分ニ記載シタル金額カ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナリタルトキハ主ナル部分ニ記載シタル金額ヲ以テ手形金額トス

商法 手形 爲替手形 振出

第四百二十七條 振出人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得

第四百二十八條 振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂入ヲ記載スルコトヲ得

第四百二十九條 爲替手形ハ其金額三十圓以上ノモノニ限り之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第四百三十條 満期日ハ左ニ掲ケタル種類ノ一タルコトヲ要ス

一 確定セル日

二 日附後確定セル時期ヲ經過シタル日

三 一覽ノ日

四 一覽後確定セル時期ヲ經過シタル日

第四百三十一條 振出人カ爲替手形ニ満期日ヲ記載セザリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ満期日トス

第四百三十二條 振出人カ特ニ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セザリシトキハ其爲替手形ニ記載シタル支拂人ノ住所地ヲ以テ其支拂地トス

第四百三十三條 支拂地カ支拂人ノ住所地ト異ナルトキハ他人ヲ以テ支拂擔當者トシテ爲替手形ニ記載スルコトヲ得

第四百三十四條 振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得

第三節 裏書

第四百三十五條 爲替手形ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得但振出人カ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

第四百三十六條 振出人、引受人又ハ裏書人カ裏書ニ依リテ爲替手形ヲ讓受ケタルトキハ更ニ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

第四百三十七條 裏書ハ爲替手形、其原本又ハ補箋ニ被裏書人ノ氏名若シハ商號及ヒ裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス

裏書ハ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ爾後爲替手形ハ引渡ノミニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

第四百三十八條 裏書人ハ裏書ヲ爲スコ當タリ支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百三十九條 裏書人ハ裏書ヲ爲スコ當タリ手形上ノ責任ヲ負ハサル旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十條 裏書人カ裏書ヲ爲スコ當タリ爾後裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ其裏書人ハ被裏書人ノ後者ニ對シテ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

商法 手形 爲替手形 裏書

第四百四十一條 裏書人カ其署名ノミナテ裏書ヲ爲シタルトキハ所持人ハ自己ヲ其被裏書人ト爲スコトヲ得

第四百四十二條 支拂拒絕證書作成ノ期間ヲ經過シタル後所持人カ裏書ヲ爲シタルトキハ被裏書人ハ裏書人ノ有シタル權利ノミヲ取得ス此場合ニ於テハ其裏書人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

第四百四十三條 所持人ハ裏書ニ依リテ爲替手形ノ質入ヲ爲シ又ハ其取立ノ代理ヲ委任スルコトヲ得此場合ニ於テハ裏書ニ其目的ヲ附記スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ被裏書人ハ同一ノ目的ヲ以テ更ニ裏書ヲ爲スコトヲ得

第四百四十四條 裏書アル爲替手形ノ所持人ハ其裏書カ連續スルニ非サレハ其權利ヲ行フコトヲ得ス但署名ノミナテ爲シタル裏書アルトキハ次ノ裏書人ハ其裏書ニ因リテ爲替手形ヲ取得シタルモノト看做ス

第四節 引受

第四百四十五條 所持人ハ何時ニテモ支拂人ニ爲替手形ヲ呈示シテ其引受ヲ求ムルコトヲ得

第四百四十六條 一覽後定期拂ノ爲替手形ノ所持人ハ其日附ヨリ一年内ニ支拂人ニ爲替手形

ヲ呈示シテ其引受ヲ求ムルコトヲ要ス但振出人ハ爲替手形ニ之ヨリ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得

所持人カ前項ニ定メタル呈示ヲ爲サザリントキハ振出人其他ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第四百四十七條 所持人カ一覽後定期拂ノ爲替手形ヲ呈示シタル場合ニ於テ支拂人カ其引受ヲ爲サス又ハ引受ノ日附ヲ爲替手形ニ記載セザリントキハ所持人ハ呈示期間内ニ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス此場合ニ於テハ其拒絕證書作成ノ日ヲ以テ呈示メ日ト看做ス

所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメザリントキハ振出人其他ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

引受人カ引受ノ日附ヲ記載セザリシ場合ニ於テ所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメザリントキハ呈示期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス

第四百四十八條 引受ハ爲替手形ニ其旨ヲ記載シ支拂人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス

支拂人カ爲替手形ニ署名シタルトキハ其引受ヲ爲シタルモノト看做ス

第四百四十九條 支拂人ハ手形金額ノ一部ニ付キ引受ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ヲ除ク外支拂人カ爲替手形ノ單純ナル引受ヲ爲サザリントキハ其引受ヲ拒絕ス

商法 手形 爲替手形 引受

タルモノト看做ス但引受人ハ其引受ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四百五十條 支拂人ハ爲替手形ノ引受ニ因リ満期日ニ於テ其引受ケタル金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第四百五十一條 引受人カ爲替手形ノ支拂ヲ爲ササリシ場合ニ於テ其所持人又ハ償還ヲ爲シタル裏書人若クハ振出人ニ對シテ支拂フヘキ金額ハ第四百七十一條又ハ第四百七十二條ノ規定ニ依リテ之ヲ定ム

第四百五十二條 支拂地カ支拂人ノ住所地ト異ナル場合ニ於テ振出人カ爲替手形ニ支拂擔當者ヲ記載セサリシトキハ支拂人ハ其引受ヲ爲スニ當タリ之ヲ記載スルコトヲ得若シ支拂人カ之ヲ記載セサリシトキハ支拂地ニ於テ自ラ支拂ヲ爲ス責ニ任ス

振出人ハ爲替手形ニ其引受ヲ求ムル爲メ之ヲ呈示スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得此場合ニ於テ所持人カ拒絕證書ニ依リ其呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セサルトキハ振出人其他ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第四百五十三條 支拂人ハ引受ヲ爲スニ當タリ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得

第五節 擔保ノ請求

第四百五十四條 支拂人カ爲替手形ノ引受ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ振出人其他ノ前者ニ對シ手形金額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

支拂人カ手形金額ノ一部ニ付キ引受ヲ爲シタルトキハ所持人ハ其殘額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

第四百五十五條 爲替手形ノ所持人カ前條ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ引受拒絕證書ヲ作ラシメ且擔保ヲ供セシメント欲スル者ニ對シ遲滞ナク擔保請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百五十六條 裏書人カ其後者ヨリ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ振出人其他ノ前者ニ對シ其擔保スヘキ金額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裏書人ハ擔保ヲ供セシメント欲スル者ニ對シ遲滞ナク擔保請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百五十七條 前三條ノ規定ニ依リテ擔保ノ請求ヲ受ケタル者ハ遲滞ナク引受拒絕證書ト引換ニ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス但擔保ニ代ヘテ相當ノ金額ヲ供託スルコトヲ得

第四百五十八條 振出人其他ノ前者カ擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタルトキハ其後者全員ノ爲メ且其後者全員ニ對シテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

商法 手形 爲替手形 擔保ノ請求

所持人又ハ裏書人カ第四百五十五條又ハ第四百五十六條第二項ニ定メタル通知ヲ發シタルトキハ其通知ヲ受クル者ノ後者全員ノ爲メニシタルモノト看做ス

第四百五十九條 左ノ場合ニ於テハ第四百五十七條ノ規定ニ依リテ供シタル擔保ハ其效力ヲ失ヒ又供託シタル金額ハ之ヲ取戻スコトヲ得

- 一 後日ニ至リ爲替手形ノ單純ナル引受アリタルトキ
- 二 手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタルトキ
- 三 擔保ヲ供シ若クハ供託ヲ爲シタル者又ハ其前者カ償還ヲ爲シタルトキ
- 四 手形上ノ權利カ时效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキ
- 五 擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタル者カ満期日ヨリ一年內ニ償還ノ請求ヲ受ケザリントキ

第四百六十條 引受人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相當ノ擔保ヲ供セス且豫備支拂人カ單純ナル引受ヲ爲サザリントキハ所持人ハ振出人其他ノ前者ニ對シ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ第四百五十四條乃至第四百五十八條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ豫備支拂人ノ引受ヲ求ムルコトハ拒絕證書ヲ作ラシメ且遲滞ナル其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百六十一條 左ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依リテ供シタル擔保ハ其效力ヲ失ヒ又供託シタル金額ハ之ヲ取戻スコトヲ得

- 一 豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタルトキ
- 二 引受人カ後日ニ至リ相當ノ擔保ヲ供シタルトキ
- 三 第四百五十九條第二號乃至第五號ノ場合

第六節 支拂

第四百六十二條 一覽拂ノ爲替手形ノ所持人ハ其日附ヨリ一年內ニ爲替手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求ムルコトヲ要ス但振出人ハ爲替手形ニ一年ヨリ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得

所持人カ拒絕證書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セザルトキハ手形上ノ權利ヲ失フ

第四百六十三條 支拂ハ爲替手形ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セス

支拂ヲ爲ス者ハ所持人ヲシテ爲替手形ニ受取ノ旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得

第四百六十四條 手形金額ノ全部ニ付キ引受アリタルトキト雖モ所持人ハ其一部ノ支拂ヲ拒ムコトヲ得ス

商法 手形 爲替手形 支拂

一部ノ支拂アリタルトキハ所持人ハ其旨ヲ爲替手形ニ記載シ且一部受取ノ旨ヲ記載シテ署名シタル謄本ヲ交付スルコトヲ要ス

第四百六十五條 爲替手形ノ支拂ノ請求ナキトキハ引受人ハ支拂拒絶證書作成ノ期間經過ノ後手形金額ヲ供託シテ其債務ヲ免ルルコトヲ得

第七節 償還ノ請求

第四百六十六條 支拂人カ爲替手形ノ支拂ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ振出人其他ノ前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百六十七條 所持人カ前條ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ支拂ヲ求ムル爲メ爲替手形ヲ支拂人ニ呈示シ、若シ手形金額ノ支拂ナキトキハ滿期日又ハ其後二日內ニ支拂拒絶證書ヲ作ラシメ且償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シテ拒絶證書作成ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

所持人カ前項ニ定メタル手續ヲ爲ササリシトキハ振出人其他ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第四百六十八條 裏書人カ其後者ヨリ前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ振出人其他ノ前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裏書人ハ償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シ自己カ通知ヲ受ケタル日ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百六十九條 爲替手形ノ所持人ハ支拂拒絶證書ヲ作ラシメサリシトキト雖モ其作成ヲ免除セシ者ニ對シテハ手形上ノ權利ヲ失フコトナシ

所持人カ支拂拒絶證書ヲ作ラシメタルトキハ其作成ヲ免除セシ者ト雖モ其費用ヲ償還スル義務ヲ免ルルコトヲ得ス

第四百七十條 支拂地カ支拂人ノ住所地下異ナル場合ニ於テ所持人カ償還ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ支拂擔當者ニ若シ爲替手形ニ支拂擔當者ノ記載ナキトキハ支拂地ニ於テ支拂人ニ爲替手形ヲ呈示シテ共支拂ヲ求ムルコトヲ要ス此場合ニ於テ支拂擔當者又ハ支拂人カ支拂ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ支拂地ニ於テ第四百六十七條ノ規定ニ從ヒ支拂拒絶證書ヲ作ラシメ且償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

爲替手形ニ支拂擔當者ノ記載アル場合ニ於テ所持人カ前項ニ定メタル手續ヲ爲ササリシトキハ引受人ニ對シテモ手形上ノ權利ヲ失フ

第四百七十一條 爲替手形ノ所持人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

一 支拂アラサリシ手形金額及セ滿期日以後ノ法定利息

商法

手形 爲替手形 償還ノ請求

二 拒絕證書作成ノ手数料其他ノ費用

前項ノ金額ハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地カ支拂地ト異ナル場合ニ於テハ支拂地ヨリ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス若シ支拂地ニ於テ其相場ナキトキハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依ル

第四百七十二條 償還ノ請求ヲ受ケタル裏書人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

- 一 其支拂ヒタル金額及ヒ支拂ノ日以後ノ法定利息
- 二 其支出シタル費用

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十三條 爲替手形ノ所持人又ハ裏書人ハ償還ノ請求ヲ爲ス爲メ振出人其他ノ前者ヲ支拂人トシテ更ニ爲替手形ヲ振出スコトヲ得

第四百七十四條 前條ノ規定ニ依リ所持人カ振出ス爲替手形ハ本爲替手形ノ支拂地ヲ以テ其振出地ト定メ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ヲ以テ其支拂地ト定メタル一覽拂ノモノタルコトヲ要ス

裏書人カ振出ス爲替手形ニハ其住所地ヲ以テ振出地ト定ムルコトヲ要ス

第四百七十五條 償還ハ爲替手形、支拂拒絕證書及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セス
償還ヲ爲ス者ハ之ヲ受クル者ヲシテ償還計算書ニ受取ノ旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得

第四百七十六條 第四百五十八條ノ規定ハ償還ノ請求ニ之ヲ準用ス

第八節 保證

第四百七十七條 爲替手形ヨリ生シタル債務ヲ保證スル爲メ爲替手形、其贖本又ハ補箋ニ署名シタル者ハ其債務カ無効ナルトキト雖モ主タル債務者ト同一ノ責任ヲ負フ

第四百七十八條 何人ノ爲メニ保證ヲ爲シタルカ分明ナラサルトキハ其保證ハ引受人ノ爲メニ爲シタルモノト看做ス但未ダ引受アラザリシトキハ振出人ノ爲メニ爲シタルモノト看做ス

第四百七十九條 保證人カ其債務ヲ履行シタルトキハ所持人カ主タル債務者ニ對シテ有シタル權利及ヒ主タル債務者カ其前者ニ對シテ有スヘキ權利ヲ取得ス

第九節 參加

商法 手形 爲替手形 保證 參加

第一款 參加引受

第四百八十條 爲替手形ノ所持人カ引受拒絶證書ヲ作ラシメタル場合ニ於テ豫備支拂人アル
トキハ其豫備支拂人ニ引受ヲ求メタル後ニ非サレハ振出人其他ノ前者ニ對シテ擔保ヲ請求
スルコトヲ得ス

豫備支拂人カ引受ヲ爲サリシトキハ所持人ハ其旨ヲ引受拒絶證書ニ記載セシムルコトヲ
要ス

第四百八十一條 爲替手形ノ所持人ハ豫備支拂人ニ非サル者ノ參加引受ヲ受諾スル義務ナ
シ

第四百八十二條 參加引受ヲ爲サントスル者數人アルトキハ所持人ハ其選擇ニ從ヒ其一人ノ
引受ヲ受諾スルコト得

第四百八十三條 參加引受ハ爲替手形ニ其旨ヲ記載シ參加引受人署名スルニ依リテ之ヲ爲
ス

參加引受人カ爲替手形ニ被參加人ヲ定メサリシトキハ其引受ハ振出人ノ爲メニ之ヲ爲シタ
ルモノト看做ス

第四百八十四條 所持人ハ引受拒絶證書作成ノ費用ノ支拂ト引換ニ其證書ヲ參加引受人ニ交

付シ且其證書ニ參加引受アリタル旨ヲ記載セシムルコトヲ要ス

參加引受人ハ遲滞ヲ前項ノ拒絶證書ヲ被參加人ニ送付スルコトヲ要ス

第四百八十五條 參加引受人ハ支拂人カ手形金額ノ支拂ヲ爲ササル場合ニ於テ被參加人ノ後
者ニ對シ支拂アラサリシ手形金額及ヒ費用ヲ支拂フ義務ヲ負フ但所持人カ滿期日又ハ其後
二日內ニ支拂ヲ求ムル爲メ爲替手形ヲ參加引受人ニ呈示セサルトキハ參加引受人ハ其義務
ヲ免ル

第四百八十六條 爲替手形ノ所持人及ヒ被參加人ノ後者ハ參加引受ニ因リテ擔保ヲ請求スル
權利ヲ失フ

第二款 參加支拂

第四百八十七條 爲替手形ノ所持人カ支拂拒絶證書ヲ作ラシメタル場合ニ於テ豫備支拂人又
ハ參加引受人アルトキハ所持人ハ滿期日又ハ其後二日內ニ參加引受人ニ、若シ參加引受人
ナキトキ又ハ參加引受人カ支拂ヲ爲サリシトキハ豫備支拂人ニ爲替手形ヲ呈示シテ其支
拂ヲ求メタル後ニ非サレハ振出人其他ノ前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス
參加引受人又ハ豫備支拂人カ支拂ヲ爲サリシトキハ所持人ハ其旨ヲ支拂拒絶證書ニ記載
セシムルコトヲ要ス

所持人カ前二項ニ定メタル手續ヲ爲ササリシトキハ豫備支拂人ノ指定者又ハ被參加人及ヒ其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第四百八十八條 爲替手形ノ所持人ハ豫備支拂人又ハ參加引受ニ非ナル者ノ參加支拂ト雖モ之ヲ拒ムコトヲ得ス若シ之ヲ拒ミタルトキハ被參加人及ヒ其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第四百八十九條 參加支拂ヲ爲サントスル者數人アルトキハ所持人ハ最モ多數ノ者ヲシテ債務ヲ免レシムル效力ヲ有スル支拂ヲ受クルコトヲ要ス

第四百九十條 所持人ハ手形金額及ヒ費用ノ支拂ト引換ニ支拂拒絶證書及ヒ爲替手形ヲ參加支拂人ニ交付シ且其拒絶證書ニ參加支拂アリタル旨ヲ記載セシムルコトヲ要ス

第四百九十一條 參加支拂人カ支拂ヲ爲シタルトキハ引受人、被參加人及ヒ其前者ニ對スル所持人ノ權利ヲ取得ス

第十節 拒絶證書

第四百九十二條 拒絶證書ハ爲替手形ノ所持人ノ請求ニ因リ公證人又ハ執達吏之ヲ作ル

第四百九十三條 拒絶證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ公證人又ハ執達吏之ニ署名スルコトヲ要ス

一 爲替手形、其贖本及ヒ補箋ニ記載シタル事項

二 拒絶者及ヒ被拒絶者ノ氏名又ハ商號

三 拒絶者ニ對シテ爲シタル請求ノ趣旨及ヒ拒絶者カ其請求ニ應セサリシコト又ハ拒絶者ニ面會スルコト能ハサリシ理由

四 前號ノ請求ヲ爲シ又ハ之ヲ爲スコト能ハサリシ地及ヒ年月日

五 拒絶者ノ營業所、住所又ハ居所カ知レサル場合ニ於テ其地ノ官署又ハ公署ニ問合テ爲シタルコト

六 法定ノ場所外ニ於テ拒絶證書ヲ作ルトキハ拒絶者カ之ヲ承諾セシコト

七 參加引受又ハ參加支拂アルトキハ參加ノ種類及ヒ參加人並ニ被參加人ノ氏名又ハ商號

第四百九十四條 數人ニ對シテ手形上ノ請求ヲ爲スヘキトキハ其請求ニ付キ一通ノ拒絶證書ヲ作成スルヲ以テ足ル

第四百九十五條 公證人又ハ執達吏カ拒絶證書ヲ作リタルトキハ其帳簿ニ其證書ノ全文ヲ記載スルコトヲ要ス

拒絶證書カ滅失シタルトキハ利害關係人ハ其贖本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此贖本ハ原本

商法 手形 爲替手形 拒絶證書 爲替手形ノ贖本及ヒ贖本

ト同一ノ效力ヲ有ス

第十一節 爲替手形ノ複本及ヒ贖本

第四百九十六條 爲替手形ノ所持人ハ振出人ニ對シテ其爲替手形ノ複本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但受取人以外ノ所持人ハ其前者ヲ經由シテ之ヲ請求スルコトヲ要ス

振出人カ爲替手形ノ複本ヲ作リタルトキハ各裏書人ハ各通ニ其裏書ヲ爲スコトヲ要ス

第四百九十七條 爲替手形ノ複本ニ其複本タルコトヲ示ササルトキハ其各通ハ獨立ノ爲替手形トシテ其效力ヲ有ス

第四百九十八條 爲替手形ノ複本ヲ作リタル場合ニ於テ其一通ノ支拂アリタルトキハ他ノ各通ハ其效力ヲ失フ但引受アルモノハ此限ニ在ラス

二人以上ニ各別ニ數通ノ爲替手形ノ裏書ヲ爲シタル者又ハ數通ノ爲替手形ニ引受ヲ爲シタル者ハ支拂ノ時ニ於テ返還アラザリシ各通ニ付キ手形上ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第四百九十九條 爲替手形ノ複本ノ所持人カ引受ヲ求ムル爲メ其一通ヲ送付シタルトキハ他ノ各通ニ其送付先ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ記載アル爲替手形ノ所持人ハ引受ヲ求ムル爲メニ送付シタル一通ノ爲替手形ヲ受取リタル者ニ對シテ其返還ヲ求ムルコトヲ得若シ其者カ之ヲ返還セサルトキハ拒絕證書ニ依

リ其事實及ヒ他ノ一通又ハ數通ノ爲替手形ヲ以テ引受又ハ支拂ヲ受クルコト能ハザリシコトヲ證明シタルトキニ限り振出人其他ノ前者ニ對シテ擔保又ハ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五百條 爲替手形ノ所持人ハ其贖本ヲ作ルコトヲ得

爲替手形ノ贖本ニ或事項ヲ記載シタルトキハ其事項ト原本ニ記載シタル事項トヲ區別スルコトヲ要ス

第五百一條 所持人カ爲替手形ノ引受ヲ求ムル爲メ其原本ヲ送付シタル場合ニ於テ其贖本ヲ作リタルトキハ之ニ其原本ノ送付先ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ記載アル贖本ノ所持人ハ原本ヲ受取リタル者ニ對シテ其返還ヲ求ムルコトヲ得

第五百二條 引受ヲ求ムル爲メニ送付シタル爲替手形ヲ受取リタル者カ之ヲ返還セサル場合ニ於テ其贖本ノ所持人カ拒絕證書ニ依リテ其事實ヲ證明スルトキハ贖本ニ署名シタル者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲シ又贖本ニ記載シタル満期日カ到來シタル後ハ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二章 約束手形

第五百三條 約束手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人署名スルコトヲ要ス

商法 手形 約束手形

- 一 其約束手形タルコトヲ示スヘキ文字
- 二 一定ノ金額
- 三 受取人ノ氏名又ハ商號
- 四 單純ナル支拂ノ約束
- 五 振出ノ年月日
- 六 一定ノ満期日
- 七 振出地

第五百四條 振出人カ特ニ約束手形ニ支拂地ヲ記載セザリシトキハ振出地ヲ以テ其支拂地トス

第五百五條 一覽後定期拂ノ約束手形ノ所持人ハ其日附ヨリ一年内ニ振出人ニ約束手形ヲ呈示スルコトヲ要ス但振出人ハ約束手形ニ一年ヨリ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得
所持人カ拒絕證書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セザルトキハ振出人以外ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第五百六條 所持人カ一覽後定期拂ノ約束手形ヲ呈示シタル場合ニ於テ振出人カ呈示ヲ受ケタル旨又ハ其日附ヲ約束手形ニ記載セザリシトキハ所持人ハ呈示期間内ニ拒絕證書ヲ作ラ

シムルコトヲ要ス此場合ニ於テハ其拒絕證書作成ノ日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス

所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキハ振出人以外ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

振出人カ呈示ノ日附ヲ記載セザリシ場合ニ於テ所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキハ呈示期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス

第五百七條 第四百十五條乃至第四百二十四條、第四百二十六條、第四百二十九條乃至第四百三十一條、第四百三十三條乃至第四百三十七條、第四百三十九條乃至第四百四十四條、第四百五十一條、第四百六十條乃至第四百七十九條、第四百八十七條乃至第四百九十五條及ヒ第五百條ノ規定ハ約束手形ニ之ヲ準用ス

第三章 小切手

第五百八條 小切手ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人之ニ署名スルコトヲ要ス

- 一 其小切手タルコトヲ示スヘキ文字
- 二 一定ノ金額
- 三 支拂人ノ氏名又ハ商號
- 四 受取人ノ氏名若クハ商號又ハ所持人ニ支拂フヘキコト

商法 手形 小切手

五 單純ナル支拂ノ委託

六 振出ノ年月日

七 支拂地

第五百九條 小切手ノ振出人ハ自己ヲ受取人ト定ムルコトヲ得

第五百十條 小切手ハ一覽拂ノモノトス

第五百十一條 小切手ノ支拂人カ其引受ヲ爲シタルトキハ之ニ記載シタル金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第五百十二條 小切手ノ所持人ハ其日附ヨリ一週間内ニ小切手ヲ呈示シテ其支拂ヲ求ムルコトヲ要ス

所持人カ前項ニ定メタル呈示ヲ爲サザリントキハ振出人其他ノ前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第五百十三條 小切手ノ所持人カ振出人其他ノ前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコハ支拂拒絕證書ノ作成ニ代ヘ支拂人ヲシテ前條第一項ニ定メタル期間内ニ支拂拒絕ノ旨及ヒ其年月日ヲ小切手ニ記載セシメ且之ニ署名セシムルヲ以テ足ル

第五百十四條 小切手ノ振出人又ハ所持人カ其表面ニ二條ノ平行線ヲ畫キ其線内ニ銀行ナル

文字ヲ記載シタルトキハ支拂人ハ銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スコトヲ得

振出人又ハ所持人カ平行線内ニ特定セル銀行ノ商號ヲ記載シタルトキハ支拂人ハ其銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スコトヲ得但其銀行カ裏書ニ依リテ他ノ銀行ニ取立ノ代理ヲ委任スルコトヲ妨ケス

第五百十五條 左ノ場合ニ於テハ振出人ハ五圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル

一 資金ナシ又ハ信用ヲ得スシテ小切手ヲ振出シタルトキ

二 小切手ニ虛偽ノ日附ヲ記載シタルトキ

第五百十六條 第四百十五條乃至第四百二十四條、第四百二十六條、第四百三十二條、第四百三十五條、第四百三十七條、第四百三十九條乃至第四百四十二條、第四百四十四條、第四百四十八條、第四百五十一條、第四百六十三條乃至第四百六十九條、第四百七十一條、第四百七十二條、第四百七十五條乃至第四百七十九條、第四百九十二條、第四百九十三條及ヒ第四百九十五條ノ規定ハ小切手ニ之ヲ準用ス

第五編 海商

第一章 船舶及船舶所有者

第五百十七條 本法ニ於テ船舶トハ營利ノ目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スルモノヲ謂フ
本編ノ規定ハ端舟其他櫓艇ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓艇ヲ以テ運轉スル舟ニハ之ヲ適用セス

第五百十八條 船舶ノ屬具目錄ニ記載シタル物ハ其從物ト推定ス

第五百十九條 船舶所有者ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ登記ヲ爲シ且船舶國籍證書ヲ請受ケルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ總噸數二十噸未満ノ船舶ニハ之ヲ適用セス

第五百二十條 船舶所有者權ノ讓渡ハ其登記ヲ爲シ且船舶國籍證書ニ之ヲ記載スルコト非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百二十一條 航海中ニ在ル船舶ノ所有者權ヲ讓渡セタル場合ニ於テ特約ナキトキハ其航海ニ因リテ生スル損益ハ讓受人ニ歸スヘキモノトス

第五百二十二條 差押及ヒ假差押ハ發航ノ準備ヲ終ハリタル船舶ニ對シテ之ヲ爲スコトヲ得ス但其船舶カ發航ヲ爲ス爲メニ生ケタル債務ニ付テハ此限ニ在ラス

第五百二十三條 船舶所有者ハ船長カ其法定ノ權限内ニ於テ爲シタル行爲又ハ船長其他ノ船員カ其職務ヲ行フニ當タリ他人ニ加ヘタル損害ニ付テハ航海ノ終ニ於テ船舶、運送貨及ヒ船舶所有者カ其船舶ニ付キ有スル損害賠償又ハ報酬ノ請求權ヲ債權者ニ委付シテ其責ヲ免ルルコトヲ得但船舶所有者ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ雇傭契約ニ因リテ生シタル船員ノ權利ニ付テハ之ヲ適用セス

第五百二十四條 船舶所有者カ債權者ノ同意ヲ得ヌシテ新ニ航海ヲ爲サシメタルトキハ前條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得ス

第五百二十五條 船舶共有者ノ間ニ在リテハ船舶ノ利用ニ關スル事項ハ各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半数ヲ以テ之ヲ決ス

第五百二十六條 船舶共有者ハ其持分ノ價格ニ應シ船舶ノ利用ニ關スル費用ヲ支拂フコトヲ要ス

第五百二十七條 船舶共有者カ新ニ航海ヲ爲シ又ハ船舶ノ大修繕ヲ爲スヘキコトヲ決議シタルトキハ其決議ニ對シテ異議アル者ハ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲サント欲スル者ハ決議ノ日ヨリ三日内ニ他ノ共有者又ハ船舶管理人ニ對シ

テ其通知ヲ發スルコトヲ要ス但此期間ハ決議ニ加ハラザリシ者ニ付テハ其決議ノ通知ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第五百二十八條 船舶共有者ハ其持分ノ價格ニ應シ船舶ノ利用ニ付テ生シタル債務ヲ辨濟スル責ニ任ス

第五百二十九條 損益ノ分配ハ每航海ノ終ニ於テ船舶共有者ノ持分ノ價格ニ應シテ之ヲ爲ス

第五百三十條 船舶共有者間ニ組合關係アルトキト雖モ各共有者ハ他ノ共有者ノ承諾ヲ得ヌシテ其持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ渡讓スコトヲ得但船舶管理人ハ此限ニ在ラス

第五百三十一條 船舶共有者ノ持分ノ移轉又ハ其國籍喪失ニ因リテ船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失スヘキトキハ他ノ共有者ハ相當代價ヲ以テ其持分ヲ買取リ又ハ其競賣ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ社員ノ持分ノ移轉其他ノ事由ニ因リ會社其他ノ法人ノ所有ニ屬スル船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十二條 船舶共有者ハ船舶管理人ヲ選任スルコトヲ要ス
船舶共有者ニ非サル者ヲ船舶管理人ト爲スニハ共有者全員ノ同意アルコトヲ要ス

船舶管理人ノ選任及ヒ其代理權ノ消滅ハ之ヲ登記スルコトヲ要ス

第五百三十三條 船舶管理人ハ左ニ掲ケタル行為ヲ除ク外船舶共有者ニ代ハリテ船舶ノ利用

ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行為ヲ爲ス權限ヲ有ス

一 船舶ノ讓渡、委付若シハ貸貸ヲ爲シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコト

二 船舶ヲ保險ニ付スルコト

三 新ニ航海ヲ爲スコト

四 船舶ノ大修繕ヲ爲スコト

五 借財ヲ爲スコト

船舶管理人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百三十四條 船舶管理人ハ特ニ帳簿ヲ備ヘ之ニ船舶ノ利用ニ關スル一切ノ事項ヲ記載ス

ルコトヲ要ス

船舶管理人ハ毎航海ノ終ニ於テ遲滯ナク其航海ニ關スル計算ヲ爲シテ各船舶共有者ノ承認

ヲ求ムルコトヲ要ス

第五百三十五條 船舶ノ貸借ハ之ヲ登記シタルトキハ爾後其船舶ニ付キ物權ヲ取得シタル

者ニ對シテモ其效力ヲ生ス

第五百三十六條 船舶ノ賃借人カ營利ノ目的ヲ以テ其船舶ヲ航海ノ用ニ供シタルトキハ其利
用ニ關スル事項ニ付テハ第三者ニ對シテ船舶所有者ト同一ノ權利義務ヲ有ス
前項ノ場合ニ於テ船舶ノ利用ニ付キ生シタル先取特權ハ船舶所有者ニ對シテモ其效力ヲ生
ス但先取特權者カ其利用ノ契約ニ反スルコトヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス

第二章 船員

第一節 船長

第五百三十七條 船長ハ其職務ヲ行フニ付キ注意ヲサリシコトヲ證明スルニ非サレハ船
舶所有者、荷送人其他ノ利害關係人ニ對シテ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

船長ハ船舶所有者ノ指圖ニ從ヒタルトキト雖モ船舶所有者以外ノ者ニ對シテハ前項ニ定メ
タル責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第五百三十八條 海員カ其職務ヲ行フニ當タリ他人ニ損害ヲ加ヘタル場合ニ於テ船長ハ監督
ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第五百三十九條 船長カ已ムコトヲ得サル事由ニ因リテ自ラ船舶ヲ指揮スルコト能ハサルト
キハ他人ヲ選任シテ自己ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得此場合ニ於テハ船長ハ其選任ニ付キ
船舶所有者ニ對シテ其責ニ任ス

第五百四十條 船長ハ發航前船舶ノ航海ニ支障ナキヤ否ヤ其他航海ニ必要ナル準備ノ整頓セ
ルヤ否ヤヲ検査スルコトヲ要ス

第五百四十一條 船長ハ左ニ掲ケタル書類ヲ船中ニ備ヘ置クコトヲ要ス

一 船舶國籍證書

二 屬具目錄

三 海員名簿

四 旅客名簿但小航海ヲ爲ス船舶ニ付テハ此限ニ在ラス

五 運送契約及ヒ積荷ニ關スル書類

六 稅關ヨリ交付シタル書類

七 航海日誌

第五百四十二條 船長ハ已ムコトヲ得サル場合ヲ除ク外荷物ノ積積及ヒ旅客ノ乗込ノ時ヨリ

荷物ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸ノ時マテ其指揮スル船舶ヲ去ルコトヲ得ス

第五百四十三條 船長ハ航海ノ準備カ終ハリタルトキハ遲滞ナク發航ヲ爲シ且必要アル場合

ヲ除ク外豫定ノ航路ヲ變更セシメテ到達港マテ航行スルコトヲ要ス

第五百四十四條 船長ハ航海中最モ利害關係人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ積荷ノ處分ヲ

爲スコトヲ要ス

利害關係人ハ船長ノ行爲ニ因リ其積荷ニ付テ生シタル債權ノ爲メ之ヲ債權者ニ委付シテ其
責ヲ免ルルコトヲ得但利害關係人ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

第五百四十五條 船舶港外ニ於テハ船長ハ航海ノ爲メニ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ
行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

船舶港ニ於テハ船長ハ特ニ委任ヲ受ケタル場合ヲ除ク外海員ノ雇入及ヒ雇止ノミヲ爲ス權
限ヲ有ス

第五百四十六條 船長ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得
ス

第五百四十七條 船長ハ船舶ノ修繕、救援又ハ救助ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費
用ヲ支辨スル爲メニ非サレハ左ニ掲ケタル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一 船舶ヲ抵當ト爲スコト

二 借財ヲ爲スコト

三 積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ質入スルコト但第五百四十四條第一項ノ場合ハ此限
ニ在ラス

船長カ積荷ヲ賣却又ハ質入シタル場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其積荷ノ到達スヘカリシ時ニ於ケル陸揚港ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム但其價格中ヨリ支出スルコトヲ要セザル費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第五百四十八條 船長カ特ニ委任ヲ受ケスシテ航海ノ爲メニ費用ヲ出タシ又ハ債務ヲ負擔シタルトキハ船舶所有者ハ第五百二十三條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得

第五百四十九條 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキハ船長ハ管海官廳又ハ領事ノ認可ヲ得テ之ヲ競買スルコトヲ得

第五百五十條 左ノ場合ニ於テハ船舶ハ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト看做ス

一 船舶カ其現在地ニ於テ修繕ヲ受クルコト能ハス且其修繕ヲ爲スヘキ地ニ至ルコト能ハサルトキ

二 修繕費カ船舶ノ價額ノ四分ノ三ヲ超ユルトキ

前項第二號ノ價額ハ船舶カ航海中毀損シタル場合ニ於テハ其發航ノ時ニ於ケル價額トシ其他ノ場合ニ於テハ其毀損前ニ有セシ價額トス

第五百五十一條 船長ハ航海ヲ繼續スル爲メ必要ナルトキハ積荷ヲ航海ノ用ニ供スルコトヲ得此場合ニ於テハ第五百四十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第五百五十二條 船長ハ遲滞ナク航海ニ關スル重要ナル事項ヲ船舶所有者ニ報告スルコトヲ要ス

船長ハ每航海ノ終ニ於テ遲滞ナク其航海ニ關スル計算ヲ爲シテ船舶所有者ノ承認ヲ求メ又船舶所有者ノ請求アルトキハ何時ニテモ計算ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第五百五十三條 船舶所有者ハ何時ニテモ船長ヲ解任スルコトヲ得但正當ノ理由ナクシテ之ヲ解任シタルトキハ船長ハ船舶所有者ニ對シ解任ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

船長カ船舶共有者ナル場合ニ於テ其意ニ反シテ解任セラレタルトキハ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得

船長カ前項ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ遲滞ナク他ノ共有者又ハ船舶管理人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第五百五十四條 船長ノ船舶所有者ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第二節 海員

第五百五十五條 海員ハ其雇入ノ手續カ終ハリタルトキハ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ

乗込ムコトヲ要ス

海員ハ船長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其乗込ミタル船舶ヲ去ルコトヲ得ス

第五百五十六條 海員ノ服役中ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔トス

第五百五十七條 海員カ服役中不行跡其他重大ナル過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ

受ケタルトキハ船舶所有者ハ三ヶ月ヲ超エサル期間内ノ治療及ヒ看護ノ費用ヲ負擔ス

前項ノ場合ニ於テ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得但其職務ヲ行

フニ因リテ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケタルトキハ其給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十八條 一航海ニ付キ給料ヲ定メタル場合ニ於テ航海ノ日數ヲ延長シ又ハ不可抗力

ニ因ラスシテ其里程ヲ延長シタルトキハ海員ハ其割合ニ應シテ給料ノ増加ヲ請求スルコト

ヲ得但航海ノ日數又ハ里程ヲ短縮シタルトキト雖モ給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十九條 海員カ就役ノ後死亡シタルトキハ船舶所有者ハ死亡ノ日マテノ給料ヲ支拂

フコトヲ要ス

海員カ其職務ヲ行フニ因リテ死亡シタルトキハ其葬式ノ費用ハ船舶所有者ノ負擔トス

第五百六十條 左ノ場合ニ於テハ船長ハ海員ヲ雇止ムルコトヲ得

一 發航前海員カ其職務ニ不適任ナルコトヲ認メタルトキ

二 海員カ著シク其職務ヲ怠リタルトキ

三 海員カ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ

五 戦争其他不可抗力ニ因リテ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタル

トキ

前項第一號乃至第四號ノ場合ニ於テハ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコ

トヲ得

第一項第五號ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求ス

ルコトヲ得第四號ノ場合ニ於テ海員ニ過失ナキトキ亦同シ

第五百六十一條 海員カ前條ニ掲ケタル事由其他正當ノ理由ナクシテ雇止メラレタルトキハ

其服役シタル期間ニ對スル給料ノ外一个月分ノ給料ヲ請求スルコトヲ得若シ雇入港外ニ於

テ雇止メラレタルトキハ雇入港マテ歸航スルニ必要ナル期間ニ對スル給料及ヒ雇入港マテ

ノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十二條 左ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ヲ請求スルコトヲ得

一 船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ

商法 海商 船員 海員

二 自己ノ過失ニ因ラヌシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ

三 船長ヨリ虐待ヲ受ケタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十三條 航海中船舶ノ所有者カ變更シタルトキハ海員ハ新所有者ニ對シ雇傭契約ニ因リテ生シタル權利義務ヲ有ス

第五百六十四條 海員ノ雇入期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ海員ヲ雇入レタルトキハ其期間ハ之ヲ一年ニ短縮ス

海員ノ雇入ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五百六十五條 雇入期間ノ定ナキトキハ海員ハ特約アル場合ヲ除ク外航海カ終了シ、船舶カ安全ニ碇泊シ且積荷ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸カ終ハリタル後ニ非サレハ其雇止ヲ請求スルコトヲ得ス

第五百六十六條 海員ノ雇入契約ハ左ノ事由ニ因リテ終了ス

一 船舶カ沈没シタルコト

二 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルコト

三 船舶カ捕獲セラレタルコト

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ契約終了ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十七條 海員カ雇入港マテノ送還ヲ請求スル權利ヲ有スル場合ニ於テハ送還ニ代ヘテ其費用ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十八條 第五百五十四條ノ規定ハ海員ニ之ヲ準用ス

第三章 運送

第一節 物品運送

第一款 總則

第五百六十九條 船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタルトキハ各當事者ハ相手方ノ請求ニ因リ運送契約書ヲ交付スルコトヲ要ス

第五百七十條 船舶所有者ハ備船者又ハ荷送人ニ對シ發航ノ當時船舶カ安全ニ航海ヲ爲スニ堪フルコトヲ擔保ス

第五百七十一條 船舶所有者ハ特約ヲ爲シタルトキト雖モ自己ノ過失、船員其他ノ使用人ノ

惡意若シハ重大ナル過失又ハ船舶カ航海ニ堪ヘサルコト因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ヲ免ルルコトヲ得ス

第五百七十二條 法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラスシテ船積シタル運送品ハ船長ニ於テ何時コトモ之ヲ陸揚シ、若シ船舶又ハ積荷ニ危害ヲ及ホス虞アルトキハ之ヲ放棄スルコトヲ得但船長カ之ヲ運送スルトキハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル同種ノ運送品ノ最高ノ運送賃ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ船舶所有者其他ノ利害關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第五百七十三條 船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ運送品ヲ船積スルニ必要ナル準備カ整頓シタルトキハ船舶所有者ハ遲滞ナク備船者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

備船者カ運送品ヲ船積スヘキ期間ノ定アル場合ニ於テハ其期間ハ前項ノ通知アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス其期間經過ノ後運送品ヲ船積シタルトキハ船舶所有者ハ特約ナキトキト雖モ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ期間中ニハ不可抗力ニ因リテ船積ヲ爲スコト能ハサル日ヲ算入セス

第五百七十四條 船長カ第三者ヨリ運送品ヲ受取ルヘキ場合ニ於テ其者ヲ確知スルコト能ハ

サルトキ又ハ其者カ運送品ヲ船積セサルトキハ船長ハ直チニ備船者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ船積期間内ニ限リ備船者ニ於テ運送品ヲ船積スルコトヲ得

第五百七十五條 備船者ハ運送品ノ全部ヲ船積セサルトキト雖モ船長ニ對シテ發航ノ請求ヲ爲スコトヲ得

備船者カ前項ノ請求ヲ爲シタルトキハ運送賃ノ全額ノ外運送品ノ全部ヲ船積セサルコト因リテ生シタル費用ヲ支拂ヒ尙ホ船舶所有者ノ請求アルトキハ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

第五百七十六條 船積期間經過ノ後ハ備船者カ運送品ノ全部ヲ船積セサルトキト雖モ船長ハ直チニ發航ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テ備船者ハ前條第二項ニ定メタル責任ヲ負フ

第五百七十七條 發航前ニ於テハ備船者ハ運送賃ノ半額ヲ支拂ヒテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

往復航海ヲ爲スヘキ場合ニ於テ備船者カ其歸航ノ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送賃ノ三分ノ二ヲ支拂フコトヲ要ス他港ヨリ船積港ニ航行スヘキ場合ニ於テ備船者カ其船積港ヲ發スル前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキ亦同シ

運送品ノ全部又ハ一部ヲ船積シタル後前二項ノ規定ニ從ヒテ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ

其船積及ヒ陸揚ノ費用ハ備船者之ヲ負擔ス

備船者カ船積期間内ニ運送品ノ船積ヲ爲ササリシトキハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做ス

第五百七十八條 備船者カ前條ノ規定ニ從ヒテ契約ノ解除ヲ爲シタルトキト雖モ附隨ノ費用及ヒ立替金ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス

前條第二項ノ場合ニ於テハ備船者ハ前項ニ掲ケタルモノノ外運送品ノ價格ニ應シ共同海損、救援又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フコトヲ要ス

第五百七十九條 發航後ニ於テハ備船者ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フ外第五百八十五條第一項ニ定メタル債務ヲ辨濟シ且陸揚ノ爲メニ生スヘキ損害ヲ賠償シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

第五百八十條 船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ備船者カ他ノ備船者及ヒ荷送人ト共同セシテ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス但船舶所有者カ他ノ運送品ヨリ得タル運送貨ハ之ヲ控除ス

發航前ト雖モ備船者カ既ニ運送品ノ全部又ハ一部ヲ船積シタルトキハ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ同意ヲ得ルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

前七條ノ規定ハ船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十一條 個個ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタルトキハ荷送人ハ船長ノ指圖ニ從ヒ遲滞ナク運送品ヲ船積スルコトヲ要ス

荷送人カ運送品ノ船積ヲ怠リタルトキハ船長ハ直チニ發航ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ荷送人ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス但船舶所有者カ他ノ運送品ヨリ得タル運送貨ハ之ヲ控除ス

第五百八十二條 第五百八十條ノ規定ハ荷送人カ契約ノ解除ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十三條 備船者又ハ荷送人ハ船積期間内ニ運送ニ必要ナル書類ヲ船長ニ交付スルコトヲ要ス

第五百八十四條 船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ運送品ヲ陸揚スルニ必要ナル準備カ整頓シタルトキハ船長ハ遲滞ナク荷受人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

運送品ヲ陸揚スヘキ期間ノ定アル場合ニ於テハ其期間ハ前項ノ通知アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス其期間經過ノ後運送品ヲ陸揚シタルトキハ船舶所有者ハ特約ナキトキト雖モ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ期間中ニハ不可抗力ニ因リテ陸揚ヲ爲スコト能ハサル日ヲ算入セズ

個個ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタルトキハ荷受人ハ船長ノ指圖ニ從ヒ遲滞ナク運送品ヲ陸揚スルコトヲ要ス

第五百八十五條 荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ運送契約又ハ船荷證券ノ趣旨ニ從ヒ運送貨、附隨ノ費用、立替金及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損、救援又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第五百八十六條 荷受人カ運送品ヲ受取ルコトヲ怠リタルトキハ船長ハ之ヲ供託スルコトヲ得此場合ニ於テハ遲滞ナク荷受人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

荷受人ヲ確知スルコト能ハサルトキ又ハ荷受人カ運送品ヲ受取ルコトヲ拒ミタルトキハ船長ハ運送品ヲ供託スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ遲滞ナク備船者又ハ荷送人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第五百八十七條 運送品ノ重量又ハ容積ヲ以テ運送貨ヲ定メタルトキハ其額ハ運送品引渡ノ當時ニ於ケル重量又ハ容積ニ依リテ之ヲ定ム

第五百八十八條 期間ヲ以テ運送貨ヲ定メタルトキハ其額ハ運送品ノ船積着手ノ日ヨリ其陸揚終了ノ日マテノ期間ニ依リテ之ヲ定ム但船積カ不可抗力ニ因リ發航港若クハ航海ノ途中ニ於テ碇泊スヘキトキ又ハ航海ノ途中ニ於テ船積ヲ修繕スヘキトキハ其期間ハ之ヲ算入セズ

第五百七十三條第二項又ハ第五百八十四條第二項ノ場合ニ於テ船積期間又ハ陸揚期間經過ノ後運送品ノ船積又ハ陸揚ヲ爲シタル日數亦同シ

第五百八十九條 船積所有者ハ第五百八十五條第一項ニ定メタル金額ノ支拂ヲ受ケル爲メ裁判所ノ許可ヲ得テ運送品ヲ競賣スルコトヲ得

船長カ荷受人ニ運送品ヲ引渡シタル後ト雖モ船積所有者ハ其運送品ノ上ニ權利ヲ行使スルコトヲ得但引渡ノ日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキ又ハ第三者カ其占有ヲ取得シタルトキハ此限ニ在ラス

第五百九十條 船積所有者カ前條ニ定メタル權利ヲ行ハサルトキハ備船者又ハ荷送人ニ對スル請求權ヲ失フ但備船者又ハ荷送人ハ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ヲ爲スコトヲ要ス

第五百九十一條 船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ備船者カ更ニ第三者ト運送契約ヲ爲シタルトキハ其契約ノ履行カ船長ノ職務ニ屬スル範圍内ニ於テハ船舶所有者ノミ其第三者ニ對シテ其履行ノ責ニ任ス但第五百二十三條ニ定メタル權利ヲ

行フコトヲ妨ケス

第五百九十二條 船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テハ其契約ハ左ノ事由ニ因リテ終了ス

一 第五百六十六條第一項ニ掲ケタル事由

二 運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルコト

第五百六十六條第一項ニ掲ケタル事由カ航海中ニ生シタルトキハ備船者ハ運送ノ割合ニ應ジ運送品ノ價格ヲ超エサル限度ニ於テ運送賃ヲ支拂フコトヲ要ス

第五百九十三條 航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ事由カ發航後ニ生シタル場合ニ於テ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ備船者ハ運送ノ割合ニ應ジテ運送賃ヲ支拂フコトヲ要ス

第五百九十四條 第五百九十二條第一項第二號及ヒ前條ニ定メタル事由カ運送品ノ一部ニ付テ生シタルトキハ備船者ハ船舶所有者ノ負擔ヲ重カラシメサル範圍内ニ於テ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ得

備船者カ前項ノ權利ヲ行ハント欲スルトキハ遲滞ナク運送品ヲ船積又ハ陸揚スルコトヲ要ス若シ其船積又ハ陸揚ヲ怠リタルトキハ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第五百九十五條 第五百九十二條及ヒ第五百九十三條ノ規定ハ船舶ノ一部又ハ個個ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十二條第一項第二號及ヒ第五百九十三條ニ定メタル事由カ運送品ノ一部ニ付テ生シタルトキハ備船者又ハ荷送人ハ運送賃ノ全額ヲ支拂ヒテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第五百九十六條 船舶所有者ハ左ノ場合ニ於テハ運送賃ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

一 船長カ第五百四十七條第一項ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ賣却又ハ質入シタルトキ

二 船長カ第五百五十一條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ航海ノ用ニ供シタルトキ

第五百九十七條 船舶所有者ノ備船者、荷送人又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第五百九十八條 第三百十二條、第三百二十條乃至第三百二十五條及ヒ第三百三十二條ノ規定ハ船舶所有者ニ之ヲ準用ス

第二款 船荷證券

商法 海商 運送 物品運送

第五百九十九條 船長ハ備船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リ運送品ノ船積後遲滞ナク一通又ハ數通ノ船荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

第六百條 船舶所有者ハ船長以外ノ者ニ船長ニ代ハリテ船荷證券ヲ交附スルコトヲ委任スルコトヲ得

第六百一條 船荷證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長又ハ之ニ代ハル者署名スルコトヲ要ス

- 一 船舶ノ名稱及ヒ國籍
- 二 船長カ船荷證券ヲ作ラサルトキハ船長ノ氏名
- 三 運送品ノ種類、重量若クハ容積、荷造ノ種類、個數及ヒ記號
- 四 備船者又ハ荷送人ノ氏名又ハ商號
- 五 荷受人ノ氏名若クハ商號又ハ船荷證券ノ所持人ニ運送品ヲ引渡スヘキコト
- 六 船積港
- 七 陸揚港但發航後備船者又ハ荷送人カ陸揚港ヲ指定スヘキトキハ其之ヲ指定スヘキ港
- 八 運送賃
- 九 數通ノ船荷證券ヲ作リタルトキハ其員數
- 十 船荷證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第六百二條 備船者又ハ荷送人ハ船長又ハ之ニ代ハル者ノ請求ニ因リ船荷證券ノ原本ニ署名シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス

第六百三條 陸揚港ニ於テハ船長ハ數通ノ船荷證券中ノ一通ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキト雖モ其引渡ヲ爲スコトヲ要ス

第六百四條 陸揚港外ニ於テハ船長ハ其作りタル總テノ船荷證券ノ返還ヲ受クルニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ得ス

第六百五條 二人以上ノ船荷證券所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキハ船長ハ遲滞ナク運送品ヲ供託シ且請求ヲ爲シタル各所持人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス船長カ前條ノ規定ニ依リテ運送品ノ一部ヲ引渡シタル後他ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタル場合ニ於テ其殘部ニ付キ亦同シ

第六百六條 二人以上ノ船荷證券所持人アル場合ニ於テ其一人カ他ノ所持人ニ先テ船長ヨリ運送品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ他ノ所持人ノ船荷證券ハ其效力ヲ失フ

第六百七條 二人以上ノ船荷證券所持人アル場合ニ於テ船長カ未ダ運送品ノ引渡ヲ爲ササルトキハ原所持人カ最モ先ニ發送シ又ハ引渡シタル證券ヲ所持スル者ハ他ノ所持人ニ先テ其權利ヲ行フコトヲ得

第六百八條 第三百十八條、第三百十九條、第四百三十五條及ヒ第四百六十三條ノ規定ハ船荷證券ニ之ヲ準用ス

第二節 旅客運送

第六百九條 記名ノ乘船切符ハ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ス

第六百十條 旅客ノ航海中ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔トス

第六百十一條 旅客カ契約ニ依リ船中ニ攜帶スルコトヲ得ル手荷物ニ付テハ船舶所有者ハ特約アルニ非サレハ運送賃ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百十二條 旅客カ乘船時期マテニ船舶ニ乗込マサルトキハ船長ハ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコトヲ得此場合ニ於テハ旅客ハ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十三條 發航前ニ於テハ旅客ハ運送賃ノ半額ヲ支拂ヒテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得發航後ニ於テハ旅客ハ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十四條 旅客カ死亡、疾病其他一身ニ關スル不可抗力ニ因リテ航海ヲ爲スコト能ハサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ運送賃ノ四分ノ一ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ事由カ發航後ニ生シタルトキハ船舶所有者ハ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ請求スルコトヲ得

第六百十五條 航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキトキハ船舶所有者ハ其修繕中旅客ニ相當ノ住居及ヒ食料ヲ供スルコトヲ要ス但旅客ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ他ノ船舶ヲ以テ上陸港マテ旅客ヲ運送スルコトヲ提供シタルトキハ此限ニ在ラス

第六百十六條 旅客運送契約ハ第五百六十六條第一項ニ掲ケタル事由ニ因リテ終了ス若シ其事由カ航海中ニ生シタルトキハ旅客ハ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十七條 旅客カ死亡シタルトキハ船長ハ最モ其相續人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ其船中ニ在ル手荷物ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス

第六百十八條 第三百三十四條、第三百三十五條第一項、第三百三十六條、第五百七十條、第五百七十一條、第五百九十三條及ヒ第五百九十七條ノ規定ハ海上ノ旅客運送ニ之ヲ準用ス

第六百十九條 旅客運送ヲ爲ス爲メ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テハ船舶所有者ト備船者トノ關係ニ付テハ前節第一款ノ規定ヲ準用ス

第四章 海損

第六百二十條 船長カ船舶及ヒ積荷ヲシテ其間ノ危險ヲ免レシムル爲メ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生シタル損害及ヒ費用ハ之ヲ共同海損トス

前項ノ規定ハ危險ヲ過失ニ因リテ生シタル場合ニ於テ利害關係人ノ過失者ニ對スル求償ヲ妨ケス

第六百二十一條 共同海損ハ之ニ因リテ保存スルコトヲ得タル船舶又ハ積荷ノ價格ト運送貨ノ半額及ヒ共同海損タル損害ノ額トノ割合ニ應ジテ各利害關係人之ヲ分擔ス

第六百二十二條 共同海損ノ分擔額ニ付テハ船舶ノ價格ハ到達ノ地及ヒ時ニ於ケル價格トシ積荷ノ價格ハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル價格トス但積荷ニ付テハ其價格中ヨリ喪失ノ場合ニ於テ支出スルコトヲ要セサル費用及ヒ支拂フコトヲ要セサル運送貨ヲ控除スルコトヲ要ス

第六百二十三條 前二條ノ規定ニ依リ共同海損ヲ分擔スヘキ者ハ船舶ノ到達又ハ積荷ノ引渡ノ時ニ於テ現存スル價額ノ限度ニ於テノミ其責ニ任ス

第六百二十四條 船舶ニ備附ケタル武器、船員ノ給料、船員及ヒ旅客ノ食料並ニ衣類ハ共同海損ノ分擔ニ付キ其價額ヲ算入セズ但此等ノ物ニ加ヘタル損害ハ他ノ利害關係人之ヲ分擔ス

第六百二十五條 船荷證券其他積荷ノ價格ヲ評定スルニ足ルヘキ書類ナクシテ船積シタル荷物又ハ屬具目錄ニ記載セサル屬具ニ加ヘタル損害ハ利害關係人ニ於テ之ヲ分擔スルコトヲ

要セス

甲板ニ積込ミタル荷物ニ加ヘタル損害亦同シ但沿岸ノ小航海ニ在リテハ此限ニ在ラス
前二項ニ掲ケタル積荷ノ利害關係人ト雖モ共同海損ヲ分擔スル責ヲ免ルルコトヲ得ス

第六百二十六條 共同海損タル損害ノ額ハ到達ノ地及ヒ時ニ於ケル船舶ノ價格又ハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル積荷ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム但積荷ニ付テハ其滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セザリシ一切ノ費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第三百二十二條ノ規定ハ共同海損ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十七條 船荷證券其他積荷ノ價格ヲ評定スルニ足ルヘキ書類ニ積荷ノ實價ヨリ低キ價額ヲ記載シタルトキハ其積荷ニ加ヘタル損害ノ額ハ其記載シタル價額ニ依リテ之ヲ定ム

積荷ノ實價ヨリ高キ價額ヲ記載シタルトキハ其積荷ノ利害關係人ハ其記載シタル價額ニ應ジテ共同海損ヲ分擔ス

前二項ノ規定ハ積荷ノ價格ニ影響ヲ及ホスヘキ事項ニ付キ虛偽ノ記載ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十八條 第六百二十一條ノ規定ニ依リテ利害關係人カ共同海損ヲ分擔シタル後船

船、其屬具若シハ積荷ノ全部又ハ一部カ其所有者ニ復シタルトキハ其所有者ハ償金中ヨリ救助ノ費用及ヒ一部滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル損害ノ額ヲ控除シタルモノヲ返還スル義務ヲ負フ

第六百二十九條 船舶カ雙方ノ船員ノ過失ニ因リテ衝突シタル場合ニ於テ雙方ノ過失ノ輕重ヲ判定スルコト能ハサルトキハ其衝突ニ因リテ生シタル損害ハ各船舶ノ所有者平分シテ之ヲ負擔ス

第六百三十條 共同海損又ハ船舶ノ衝突ニ因リテ生シタル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ共同海損ニ付テハ其計算終了ノ時ヨリ之ヲ起算ス

第六百三十一條 本章ノ規定ハ船舶カ不可抗力ニ因リ發航港又ハ航海ノ途中ニ於テ碇泊スル爲メニ要スル費用ニ之ヲ準用ス

第五章 保險

第六百三十二條 海上保險契約ハ航海ニ關スル事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ノ填補ヲ以テ其目的ト爲スコトヲ得

第三編第十章第一節第一款ノ規定ハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外海上保險契約ニ之ヲ

適用ス

第六百三十三條 保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ填補スル責ニ任ス

第六百三十四條 保險者ハ被保險者カ支拂フヘキ共同海損ノ分擔額ヲ填補スル責ニ任ス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第六百三十五條 船舶ノ保險ニ付テハ保險者ノ責任カ始マル時ニ於ケル其價額ヲ以テ保險價額トス

第六百三十六條 積荷ノ保險ニ付テハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ船積並ニ保險ニ關スル費用ヲ以テ保險價額トス

第六百三十七條 積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益ノ保險ニ付テハ契約ヲ以テ保險價額ヲ定メザリシトキハ保險金額ヲ以テ保險價額トシタルモノト推定ス

第六百三十八條 一航海ニ付キ船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ責任ハ荷物又ハ底荷ノ船積ニ著手シタル時ヲ以テ始マル

荷物又ハ底荷ノ船積ヲ爲シタル後船舶ヲ保險ニ付シタルトキハ保險者ノ責任ハ契約成立ノ

時ヲ以テ始マル

前二項ノ場合ニ於テ保險者ノ責任ハ到達港ニ於テ荷物又ハ底荷ノ陸揚カ終了シタル時ヲ以テ終ハル但其陸揚カ不可抗力ニ因ラスニテ遅延シタルトキハ其終了スヘカリシ時ヲ以テ終ハル

第六百三十九條 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ責任ハ其積荷カ陸地ヲ離レタル時ヲ以テ始マリ陸揚港ニ於テ其陸揚カ終了シタル時ヲ以テ終ハル

前條第三項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四十條 海上保險証券ニハ第三百八十六條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 船舶ノ國籍、名稱、種類及ヒ總噸數

二 船長ノ氏名

三 發航港、到達港又ハ寄航港ノ定アルトキハ其港

積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ船積港及ヒ陸揚港ヲ記載スルコトヲ要ス

第六百四十一條 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ航海ヲ變更シタルトキハ保險者ハ其義務ヲ免ル

保險者ノ責任カ始マリタル後航海ヲ變更シタルトキハ保險者ハ其變更後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リタルトキハ此限ニ在ラス

到達港ヲ變更シ其實行コ著手シタルトキハ保險シタル航路ヲ離レサルトキト雖モ航海ヲ變更シタルモノト看做ス

第六百四十二條 被保險者カ發航ヲ爲シ若クハ航海ヲ繼續スルコトヲ怠リ又ハ航路ヲ變更シ其他著シク危険ヲ變更若クハ増加シタルトキハ保險者ハ其變更又ハ増加以後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更又ハ増加カ事故ノ發生ニ影響ヲ及ホササリシトキ又ハ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ不可抗力若クハ正當ノ理由ニ因リテ生シタルトキハ此限ニ在ラス

第六百四十三條 保險契約中ニ船長ヲ指定シタルトキト雖モ船長ノ變更ハ契約ノ效力ニ影響ヲ及ホサス

第六百四十四條 積荷ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ船舶ヲ變更シタルトキハ保險者ハ其變更以後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカ

ヲサレ事由ニ因リタルトキハ此限ニ在ラス

第六百四十五條 保險契約ヲ爲スニ當テリ荷物ヲ積込ムヘキ船舶ヲ定メサリシ場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ其荷物ヲ積積シタルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク保險者ニ對シテ船舶ノ名稱及ヒ國籍ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

保險契約者又ハ被保險者カ前項ノ通知ヲ怠リタルトキハ保險者ハ其義務ヲ免ル

第六百四十六條 保險者ハ左ニ掲ケタル損害又ハ費用ヲ填補スル責ニ任セス

- 一 保險ノ目的ノ性質若クハ瑕疵、其自然ノ消耗又ハ保險契約者、被保險者若クハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害
- 二 船舶又ハ運送貨物保險ニ付シタル場合ニ於テ發航ノ當時安全ニ航海ヲ爲スニ必要ナル準備ヲ爲サス又ハ必要ナル書類ヲ備ヘサルニ因リテ生シタル損害
- 三 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ備船者、荷送人若クハ荷受人ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害
- 四 水先案内料、入港料、燈臺料、檢疫料其他船舶又ハ積荷ニ付キ航海ノ爲メニ出ダシタル通常ノ費用

第六百四十七條 共同海損ニ非サル損害又ハ費用ハ其計算ニ關スル費用ヲ算入セスシテ保險

金額ノ百分ノ三ヲ超エサルトキハ保險者ハ之ヲ填補スルコトヲ要セス

右ノ損害又ハ費用カ保險金額ノ百分ノ三ヲ超エタルトキハ保險者ハ其全額ヲ支拂フコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ當事者カ契約ヲ以テ保險者ノ負擔セサル損害又ハ費用ノ割合ヲ定メタル場合ニ之ヲ準用ス

前三項ニ定メタル割合ハ各航海ニ付キ之ヲ計算ス

第六百四十八條 保險ノ目的タル積荷カ毀損シテ陸揚港ニ到達シタルトキハ保險者ハ其積荷カ毀損シタル狀況ニ於ケル價額ノ毀損セサル狀況ニ於テ有スヘカリシ價額ニ對スル割合ヲ以テ保險價額ノ一部ヲ填補スルコトヲ要ス

第六百四十九條 航海ノ途中ニ於テ不可抗力ニ因リ保險ノ目的タル積荷ヲ賣却シタルトキハ其賣却ニ依リテ得タル代價ノ中ヨリ運送貨其他ノ費用ヲ控除シ其殘額ト保險價額トノ差ヲ以テ保險者ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テ買主カ代價ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ其支拂ヲ爲スコトヲ要ス但其支拂ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ買主ニ對スル權利ヲ取得ス

第六百五十條 被保險者ハ左ノ場合ニ於テハ保險ノ目的ヲ保險者ニ委付シテ保險金額ノ全部

ヲ請求スルコトヲ得

- 一 船舶カ沈没シタルトキ
 - 二 船舶ノ行方カ知レサルトキ
 - 三 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ
 - 四 船舶又ハ積荷カ捕獲セラレタルトキ
 - 五 船舶又ハ積荷カ官ノ處分ニ依リテ押收セラレ六ヶ月間解放セラレサルトキ
- 第六百五十一條 前條第三號ノ場合ニ於テ船長カ遲滞ナク他ノ船舶ヲ以テ積荷ノ運送ヲ繼續シタルトキハ被保險者ハ其積荷ヲ委付スルコトヲ得ス

第六百五十二條 船舶ノ存否カ六ヶ月間分明ナラサルトキハ其船舶ハ行方ノ知レサルモノトス

保險期間ノ定アル場合ニ於テ其期間カ前項ノ期間内ニ經過シタルトキト雖モ被保險者ハ委付ヲ爲スコトヲ得但船舶カ保險期間内ニ滅失セザリシコトノ證明アリタルトキハ其委付ハ無効トス

第六百五十三條 被保險者カ委付ヲ爲サント欲スルトキハ三ヶ月内ニ保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ期間ハ第六百五十條第一號、第三號及ヒ第四號ノ場合ニ於テハ被保險者カ其事由ヲ知リタル時ヨリ之ヲ起算ス

再保險ノ場合ニ於テハ第一項ノ期間ハ其被保險者カ自己ノ被保險者ヨリ委付ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ之ヲ起算ス

第六百五十四條 委付ハ單純ナルコトヲ要ス

委付ハ保險ノ目的ノ全部ニ付テ之ヲ爲スコトヲ要ス但委付ノ原因カ其一部ニ付テ生ジタルトキハ其部分ニ付テノミ之ヲ爲スコトヲ得

保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ委付ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ應ジテ之ヲ爲スコトヲ得

第六百五十五條 保險者ハ委付ニ因リ被保險者カ保險ノ目的ニ付キ有セル一切ノ權利ヲ取得ス

被保險者カ委付ヲ爲シタルトキハ保險ノ目的ニ關スル證書ヲ保險者ニ交付スルコトヲ要ス

第六百五十六條 被保險者ハ委付ヲ爲スニ當リ保險者ニ對シ保險ノ目的ニ關スル他ノ保險契約並ニ其負擔ニ屬スル債務ノ有無及ヒ其種類ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

保險者ハ前項ノ通知ヲ受クルマテハ保險金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セス
保險金額ノ支拂ニ付キ期間ノ定アルトキハ其期間ハ保險者カ第一項ノ通知ヲ受ケタル時ヨ
リ之ヲ起算ス

第六百五十七條 被保險者ハ委付ノ原因ヲ證明シタル後ニ非サレハ保險金額ノ支拂ヲ請求ス
ルコトヲ得ス

保險者ハ委付ノ原因ヲ調査スルニ必要ナル期間内ハ保險金額ノ支拂ヲ拒ムコトヲ得

第六章 船舶債權者

第六百五十八條 左ニ掲ケタル債權ヲ有スル者ハ船舶、其屬具及ヒ未ダ受取ラサル運送貨ノ
上ニ先取特權ヲ有ス

- 一 船舶並ニ其屬具ノ競賣ニ關スル費用及ヒ競賣手續開始後ノ保存費
- 二 最後ノ港ニ於ケル船舶及ヒ其屬具ノ保存費
- 三 航海ニ關シ船舶ニ課シタル諸稅
- 四 水先案内料及ヒ挽船料
- 五 救授並ニ救助ノ費用及ヒ船舶ノ負擔ニ屬スル共同海損
- 六 航海繼續ノ必要ニ因リテ生シタル債權

七 雇傭契約ニ因リテ生シタル船長其他ノ船員ノ債權

八 船舶カ其賣買又ハ製造ノ後未ダ航海ヲ爲ササル場合ニ於テ其賣買又ハ製造並ニ機裝
ニ因リテ生シタル債權及ヒ最後ノ航海ノ爲メコスル船舶ノ機裝、食料並ニ燃料ニ關ス
ル債權

九 第二號、第四號乃至第六號及ヒ前號ニ掲ケタルモノヲ除ク外第五百二十三條ノ規定
ニ依リ委付ヲ許シタル債權

第六百五十九條 船舶債權者ノ先取特權ハ運送貨ニ付テハ其先取特權ノ生シタル航海ニ於ケ
ル運送貨ノ上ニノミ存在ス

第六百六十條 船舶債權者ノ先取特權カ互ニ競合スル場合ニ於テハ其優先權ノ順位ハ第六
百五十八條ニ掲ケタル順序ニ從フ但同條第四號乃至第六號ノ債權間ニ在リテハ後ニ生シタ
ルモノ前ニ生シタルモノニ先ツ

同一順位ノ先取特權者數人アルトキハ各其債權額ノ割合ニ應シテ辨濟ヲ受ク但第六百五十
八條第四號乃至第六號ノ債權カ同時ニ生セザリシ場合ニ於テハ後ニ生シタルモノ前ニ生シ
タルモノニ先ツ

先取特權カ數回ノ航海ニ付キ生シタル場合ニ於テハ前二項ノ規定ニ拘ハラヌ後ノ航海ニ付

ヲ生シタルモノ前ノ航海ニ付テ生シタルモノニ先ツ

第六百六十一條 船舶所有者カ其船舶ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ讓受人ハ其讓渡ヲ登記シ
ル後先取特權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但
其期間ハ一个月ヲ下ルコトヲ得ス

先取特權者ガ前項ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲サザリントキハ其先取特權ハ消滅ス

第六百六十二條 船舶債權者ノ先取特權ハ其發生後一年ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第六百五十八條第八號ノ先取特權ハ船舶ノ發航ニ因リテ消滅ス

第六百六十三條 登記シタル船舶ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

船舶ノ抵當權ハ其屬具ニ及フ

船舶ノ抵當權ニハ不動産ノ抵當權ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十四條 船舶ノ先取特權ハ抵當權ニ先テ之ヲ行フコトヲ得

第六百六十五條 登記シタル船舶ハ之ヲ以テ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第六百六十六條 本章ノ規定ハ製造中ノ船舶ニ之ヲ準用ス

商法修正案理由書

曩ニ制定シタル商法ハ民法ト重複セル規定多ク間ト之ト相抵觸セルモノアリ其他穩當ヲ缺ク
規定尠カラサルカ故ニ其修正ヲ行ハノカ爲メ明治二十五年法律第八號ヲ以テ民法ト共ニ其施
行ヲ延期セラレタリ其後明治二十六年法律第九號ヲ以テ其第一編第六章、第十二章及ヒ第三
編ヲ修正施行セリト雖モ專ラ時勢ノ急ニ應センカ爲メ十分ノ修正ヲ施サザリシヲ以テ往往缺
點アルヲ免レヌ爾來政府ハ法典調査會ヲ設ケ周密慎重ナル調査ヲ遂ケ以テ本案ヲ編製シ茲ニ
之ヲ提出スルニ至ル本案ハ之ヲ舊法ニ比スレハ民法ト重複抵觸セル規定其他不穩當ナル規定
ヲ除キ更ニ進ミテ舊法ノ缺典ヲ補ヒ大ニ改良ヲ加ヘタル點尠カラスト信ス

大審院藏版

大審院判決錄 第三輯 九卷 (十二月七日) 發兌

(明治三十年十月判決ノ分掲載)

定價 金六十錢 郵稅 四錢

行政裁判所藏版

行政裁判所判決錄 第二十一卷 (十一月廿日) 發兌

(自明治三十年七月至十一月判決ノ分掲載)

定價 金二十五錢 郵稅 八錢

判決ノ先例ヲ研究スルハ法律ヲ實地ニ應用スルノ要道ナリ從來坊
間其書ニ乏シカラスト雖モ編纂粗漏ニシテ彼ニ得ルモノハ此ニ失
シ繁簡其宜ヲ得ルモノ殆ント稀ナリ右ノ兩書ハ當該官廳ノ選定ニ
係リ文字正確編次井然亦尋常坊間ノ著書ト大ニ其趣ヲ異コセリ○
右兩書ノ定價明細書ハ申込アリ次第送呈ス可シ

明治三十年十二月

發行所

東京市神田區錦町三丁目二番地

東京法學院

龍頭 改正民法

(再版)

實價 金拾五錢
郵稅 金四錢
(但郵券代用ノ向ハ
郵稅共金貳拾壹錢)

便宜ノ爲メ舊民法、商法、民事訴訟法等ノ條項ヲ參照ス

右ハ今般印刷ノ上弘ク江湖ニ頒ツ望ノ向ハ至急申込ム可レ

◎院友、生徒、在外員ニ限リニ割引ノコト

江 木 衷 著

訂正
増補

現行刑法原論

全一冊洋綴皮製美本

正 價 金 貳 圓

今般再版出來ニ付キ本院々友生徒及ヒ在外員ニ限リ實價金壹圓五拾錢(別ニ
郵稅金拾八錢)ヲ以テ發賣スニ望ノ向ハ講義錄係へ申込ム可レ

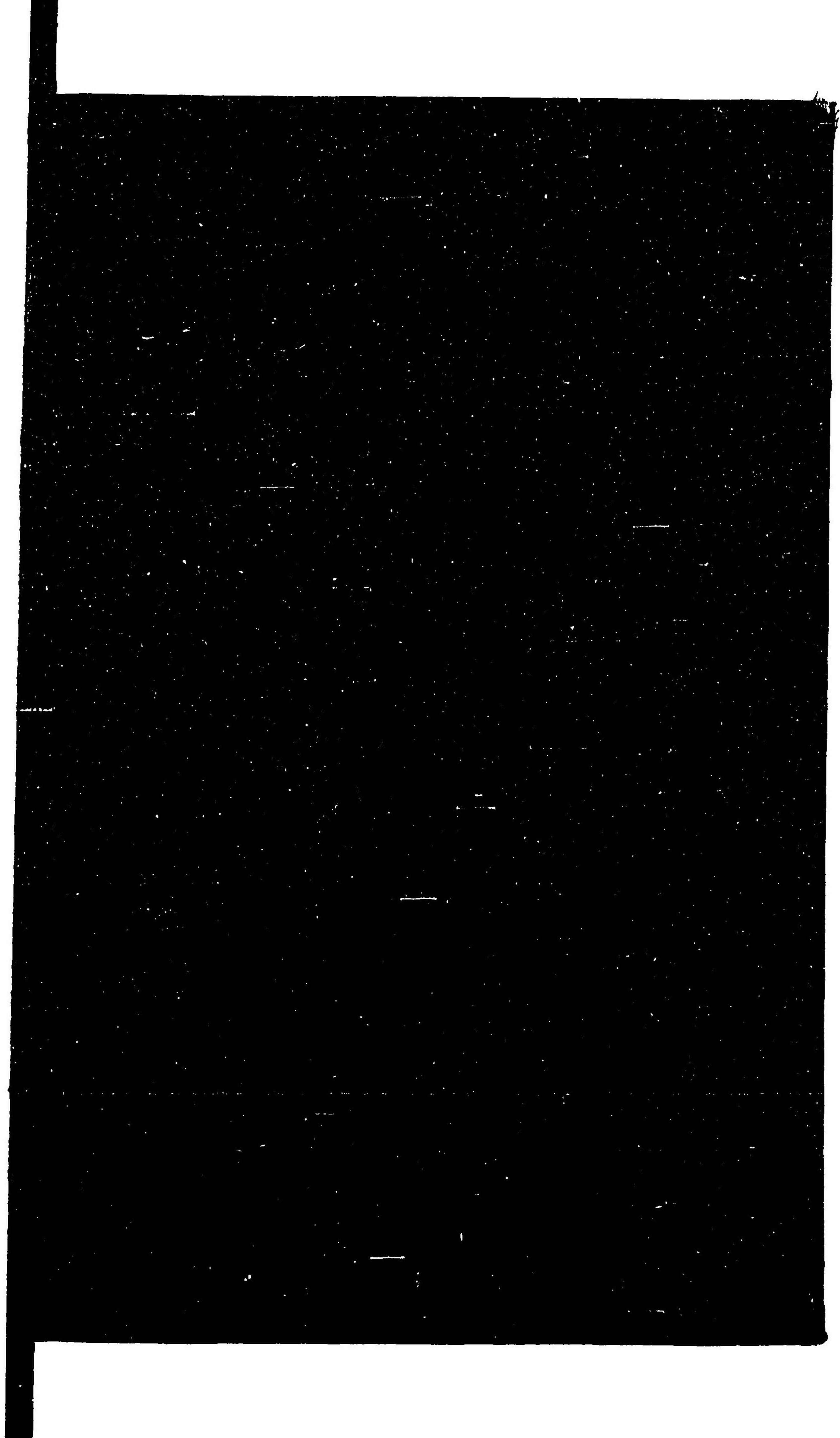
明治三十年十二月

發行所

東京市神田區錦町
二丁目二番地

東京法學院

84
5



84
5

030998-000-1

84-5

修正草案

〔法学新報社〕

〔M31〕

BBC-0465



